

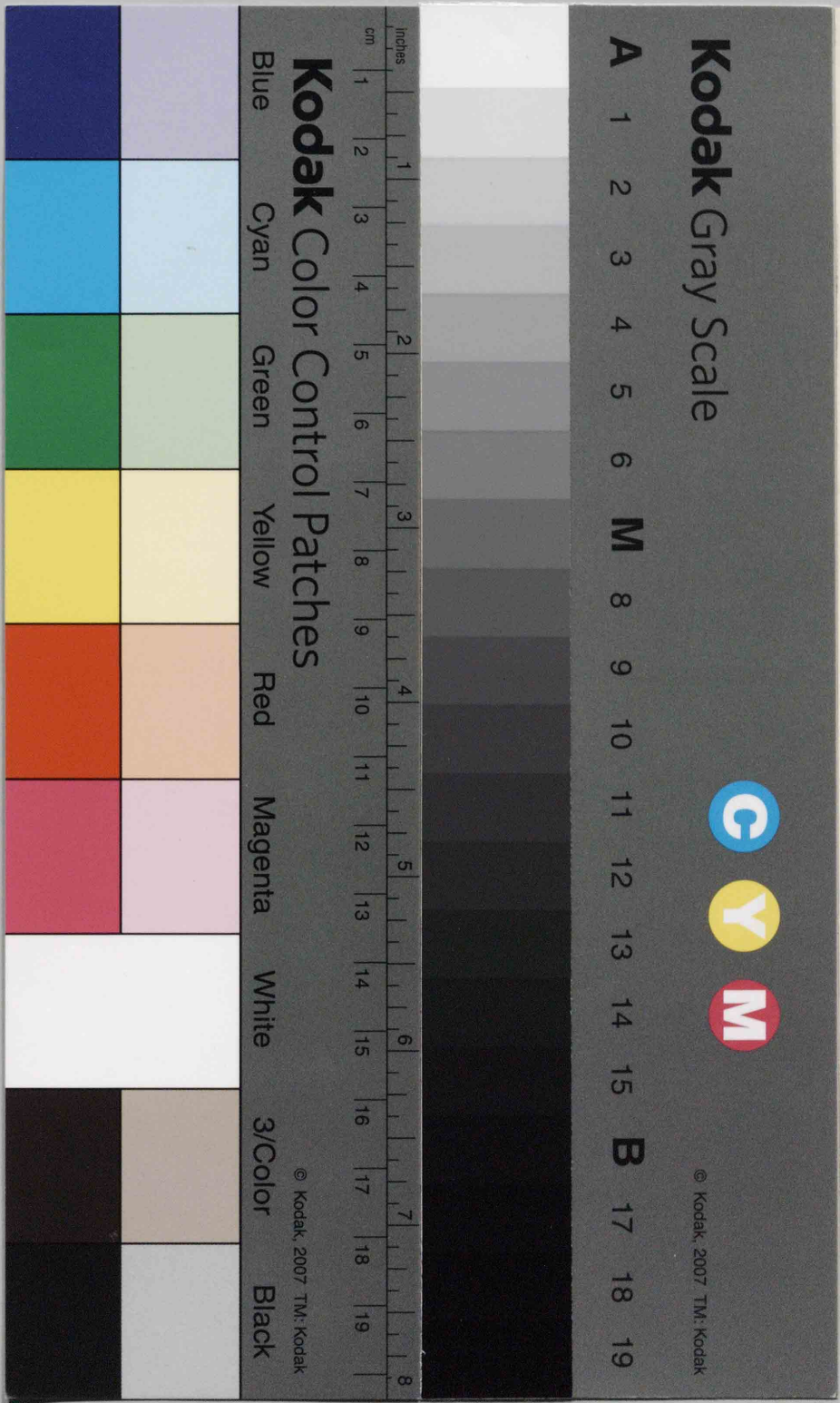
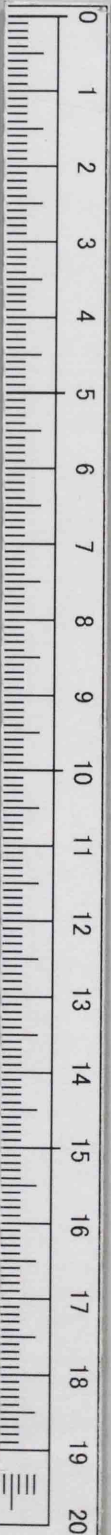
教科書文庫
4
293
41-1912
2000071217

最近
統合外國地理
中學用校
中卷

地理學士
山上海萬次郎著

東京
大日本圖書株式會社

明治四十五年版



42835
教科書文庫
4
293
41-1912
20000
71217

資料室

教科書文庫

4

293

41-1912

2000071217

明治四十五年二月九日
文部省檢定
中學校地理教科書

4a
293
明45

理學士山上萬次郎著

明治四十五年版

最新
統合外國地理

中學校用

中卷

東京大日本圖書株式會社



著 郎 次 萬 上 山 士 學 理
 書 科 教 圖 地 及 理 地 合 統 近 最
 ——(版年五十四治明)——

地 外 帝 國 地 理 概 說	地 外 帝 國 地 理 概 說	地 外 帝 國 地 理 概 說	師 範 學 校 用	高 等 女 學 校 用	中 學 校 用
全 一 冊	全 一 冊	全 一 冊	全 三 冊	全 四 冊	全 五 冊

THE STUDENT'S ATLAS OF THE WORLD	中 學 校 · 師 範 學 校 女 學 校 · 實 業 學 校 共 用	實 業 學 校 用
全 一 冊	全 一 冊	全 三 冊



近 最
 統 合 外 國 地 理 中 學 校 用 中 卷 目 次

歐羅巴洲	一頁
第一章 總 說	一
第二章 歐羅巴露西亞	一二
第三章 瑞典及び諾威	二四
第四章 丁 抹	二九
第五章 獨 逸	三〇
第六章 奧地利洪牙利	四三
第七章 瑞 西	五〇
第八章 佛蘭西	五四
第九章 白耳義	六四
第十章 和 蘭	六七

目 次

第十一章	英吉利	七一
第十二章	西班牙葡萄牙	八五
第十三章	伊太利	八九
第十四章	バルカン半島諸邦	九八

最近

統合外國地理

中學校用

中卷

目次 終

最近

統合外國地理

中學校用

中卷

插圖版目錄

一	歐羅巴内地と最近海岸との距離を示す圖	二頁
二	歐羅巴地勢略圖	三
三	歐羅巴主要山脈を示す圖	四
四	歐羅巴等温線圖	七
五	西部歐羅巴水産の分布を示す圖	八
六	本國領土面積比較圖	一一
七	全露西亞帝國の版圖を示す圖	二二
八	ペテルブルク及び附近略圖	二三
九	リバウ略圖	二三
一〇	日獨貿易累年比較圖	三五
一一	塊洪國の實業圖 其の一	四五
一二	塊洪國の實業圖 其の二	四六
一三	佛國の輪廓圖	五四
一四	佛國の葡萄主産地附漁港圖	五六
一五	日佛貿易累年比較	五八
一六	佛國の鐵道系略圖	五八
一七	英米獨佛人口の増加累年比較	五九

一八	佛國の要塞略圖	六〇頁
一九	土地種類別圖	六五
二〇	日白貿易累年比較圖	六五
二一	和蘭の地勢略圖	六八
二二	日英貿易累年比較圖	七五
二三	英國人口の密度を示す圖	八一
二四	英國炭田の分布圖	八一
二五	マラリヤ流行地方圖	九一
二六	日伊貿易累年比較圖	九二
二七	ベニス略圖	九六
二八	コリント運河略圖	一〇三

最近 統合外國地理

中學校用 中卷

山上萬次郎著

歐羅巴洲

Europe

第一章 總說

一、境域。 歐羅巴洲は東半球の西北部に位し、面積約六十萬方里、六大洲中大洋洲に次ぎて最も小なり。

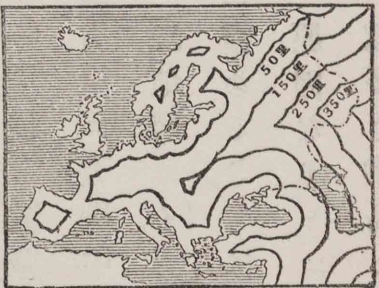
二、地勢。 (イ) 海岸及び屬島。 海岸の出入極めて多く、島嶼に富めることは、他洲の遠く及ばざる所にして、文化發達の一原因なり。
數多き半島と岬との突出により、前に羅列せる群島と相

歐羅巴洲

面積 五億
全古 14

Asia
Africa
Australia
America

歐羅巴内地と最近海岸との距離を示す圖



待つて、周圍に幾多の内海を抱く。大陸の内部も海岸より二百里以上を距つる部分は甚だ少し。

南には世界無比の内海たる地中海あり。イベリヤ半島は亞弗利加に迫りて

其の咽喉を扼し、伊太利半島其の中腹に

突出し、又シシリ島ありて、亞弗利加洲に迫り、殆ど全海面を東西二部に分つ。

バルカン半島又其の東にありて、小亞細亞半島に迫り、狭きダネル海峽・マルモラ海・ボスポロス海峽によりて、黒海に通ず。

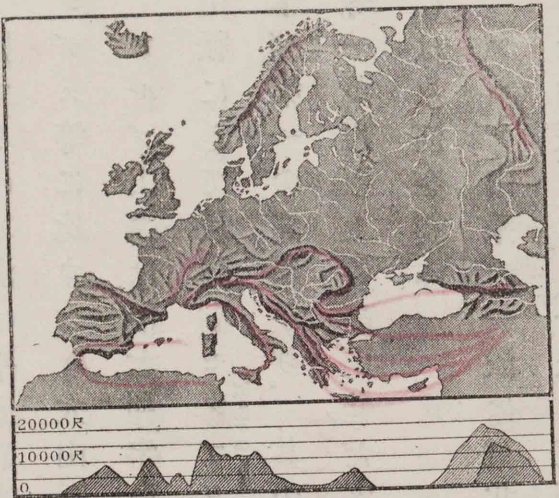
本洲の西には英吉利諸島あり、其の東に北海あり。北にはスカンデナビヤ半島ありて、バルチック海を抱く。又西北

はスカンデナビヤ半島ありて、バルチック海を抱く。又西北はスカンデナビヤ半島ありて、バルチック海を抱く。又西北

Corsica
Sardinia
Crete - Candia
Cyprus

の島屋

歐羅巴地勢略圖



ルバチヤ等の大山脈多し。北部にはスカンデナビヤ山脈の外、概ね海岸に沿ひて平野廣く、一部には海面より低き窪地あり。

の海上にアイスランドの大島あり。

北氷洋沿岸には白海あり、島にはノバヤゼムリヤを著しとす。

(ロ)山系及び平野。本洲は東西の二面に於て地勢大に異れり。西半部の中南部にはアルプ山系を始めとし、ピレネー・カ

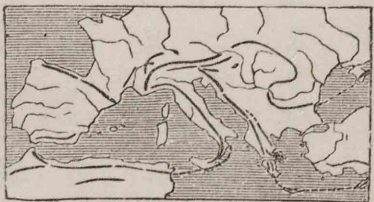
北部にはスカンデナビヤ山脈

歐羅巴主要山脈
を示す圖

東半部は概ね一面の大平原にして、西半部の平地に連り、僅にウラル山脈の東境を限るものあるのみ。

要するに本洲は平原に富み、又ヒマラヤ・アンデス等に比すべき大山脈なし。

アルプ山系は伊太利半島の北部を限る大



山脈にして、最高點モンブランは高さ約一萬六千尺に達し、

本洲第一の高峯なり。其の他モンテローザ・マッテルホルン

等一萬尺以上の高山甚だ多く、頂上には四時白雪を戴き、谷には氷河を養ふ。

アルプ山系の一派は東北に延びてカルバチャ山脈・バル

カン山脈となり、一派は東南に走りてヂナルアルプ山脈と

なる。又伊太利半島を縦貫するアペニン山脈あり。

イベリヤ半島は高原を成し北にピレネー山脈あり。

地中海の海岸には火山脈を通じ、伊太利半島のベスビヤ

ス山、シシリ島のエトナ山等は有名なる火山なり。西北

の洋中に位するアイスランド島にも火山甚だ多し。

(ハ)水系。本洲の河は分布宜しきを得、水量に富み、流れ緩

にして、河口多くは良港を成し、且諸大河は運河によりて聯絡せられ、恰も一河系の如し。

本洲西半部の河系は源を山地に發して四方に流れ(ロー

ヌ・ライン・エルベ・ダニューブ・ポー等)東半部の河系は源を大平

原の中央に發して南北に分流す(北のネバ・ドウィナ二河、南の

ドニエブル・ボルガ等)。

Dniepr Volga

湖は三系に分れ、アルプ山系の湖は風景の美を以て名高く、スカンデナヴィヤ半島の湖は狭く長く、露西亞西北部の湖は輪廓不規則にして淺し。

ボルガ河は地球上第一の内陸河、歐洲第一の長流にして、ダニユープ河は歐洲第一の大河なり。

ダニユープ河は源を獨逸の西南部に發し、東流して奧地利に入り、洪牙利平原を南下し、更に東流して遂に黒海に入る。長さ約七百餘里あり。支流甚だ多く、タイス・ドラウ・サウ・フルート等は其の最も有名なるものにして、本支流の流域を通じて約五萬方に及ぶ。洪牙利を離るる所の下流に鐵門の急流あれども、今は別に運河の設けありてこれを避く。

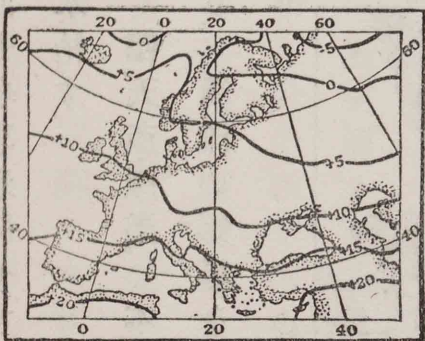
ライン河は源を瑞西の南境に近きアルプ山系の氷河中

に發し、瑞西國內を貫流して獨逸に入り、遂に西流して和蘭を貫き、分流してマース・Scheldt二河の下流と錯綜し、複雑なる三角洲を作り、北海に注ぐ。水利の大、風景の美、ダニユープ河を凌ぎ、其の上流は運河を以て一方にはダニユープ河に、一方にはセーヌ河・ローヌ河等に通ず。三河は恰も一河系を

成し、三海面を聯絡す。

三、氣候。本洲の大部は北溫帯に位し、特に西半部は三方海にて圍まれ、西南の主風灣流の上を過ぎて吹き來るが故に、地域の大部は北海道・樺太と同緯度に位するに拘らず、氣候溫暖、四季氣溫の差少く、又雨量に富み、極北の海

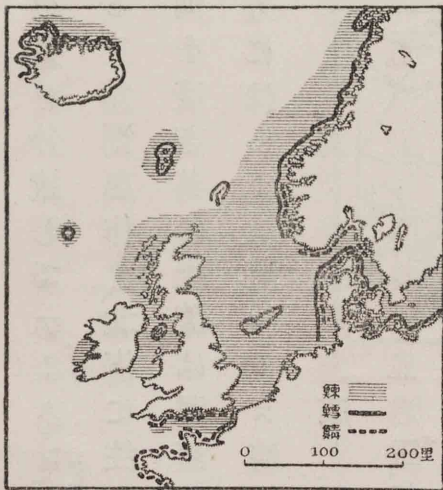
歐羅巴等温線圖
(年平均)
西南より東北
減に向ひて氣温



面も冬季氷結せず。東半部は大陸性氣候を有し、冬季河海氷結す。

四、天産産業。本洲は土地よく開らけ、野生の獸甚だ稀なり。灣流の影響を受け、西北の海面は、鱈・鯡・鯖等の水産に富む。

本洲は寒冷なる極北の小部分を除き極めて生産力に富む。特に中部及び東部地方には廣大なる森林あり、又多く麥を出す。高温なる地中海海岸は葡萄・橄欖・柑橘類の産に富む。本洲は地味・氣候・人力と相待



西部歐羅巴水産の分布を示す圖

つて、農産・林産甚だ多く、牧畜亦極めて盛なり。鑛物の産に富み、特に鐵・石炭の大産地は英國より白耳義獨逸に亘れり。故に工業の盛なること、六大洲中第一に位し、且世界の商權は主として本洲人の手にあり。特に本洲西部は商工業最も盛大にして、人口甚だ稠密なれば、穀物・肉類尙甚だ不足にして、輸入を仰ぐ所多し。

五、交通。交通の進歩到る所著しく、鐵道は世界全線路の約三分の一を占め、數多の大隧道アルプ山系を貫通す。近時西比利亞鐵道の開通により、二週日間にして東亞の東端より西歐の西邊に達す。

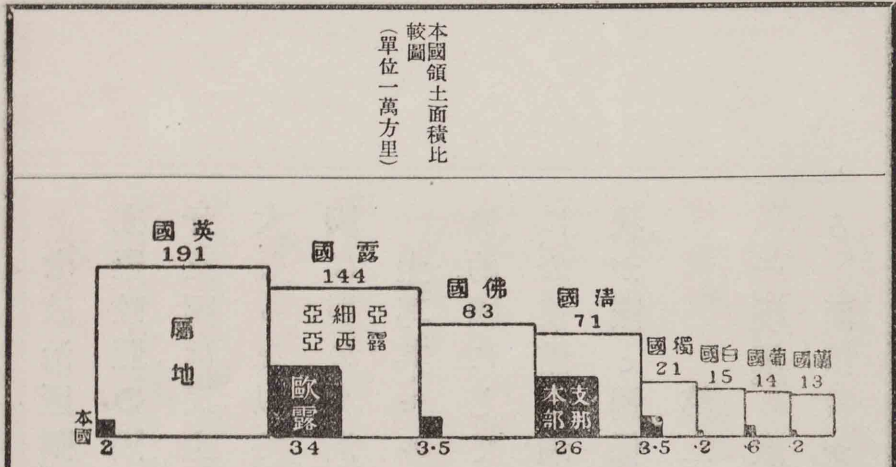
河川・運河の水利大なるのみならず、良港甚だ多く、汽船の噸數は世界總噸數の八割を超ゆ。近時大速度の巨船によ

約三千二百萬噸

り、四日半にして大西洋を横斷し、北米の東岸に達す。海底電線の大西洋を横きりて、南北亞米利加に至るもの十數條に達し、且遠く北米東岸との間に無線電信を通ず。

六、住民。人口は約四億三千萬ありて、其の密度六大洲中最も大なり。住民の最多數は所謂歐羅巴人種即ち白人種に屬し、概ね基督教を奉ず。白人種は主としてラテン・チュートン・スラブの三種族に大別せらる。

ラテン種族は本洲の南部に多く、佛蘭西人・伊太利人・西班牙人等これに屬す。概ね學藝に秀て、特に美術に長じ、性質快活、概ね舊教を奉ず。チュートン種族は本洲の中部に多く、獨逸人・英吉利人等これに屬す。着實勤勉にして、大に教育に注意し、盛に實業を勵み、概ね新教を奉ず。世界商工業の



歐羅巴洲

實權は此の種族の手中にあり。スラブ種族は本洲の東部に多く、露西亞人は其の主なるものなり。粗野頑強なれども、農事を勵み、概ね希臘教を奉ず。此の外ユダヤ種族ありて所々に散在す。頗る貨殖に長じ、概ね猶太教を奉じ、一般の歐洲人に蔑視せらる。本洲の北部・東部には亞細亞人種に屬するものあり。バルカン半島の土耳其人、洪牙利のマジヤール人、北部のフィン人・ラップ人等を主なるものとす。土耳其人は概ね回教を信ず。

七、政治區劃。本洲は政治上大小二十餘國に分たる。皆立憲政體の國にして、概ね君主國なり。唯佛蘭西、瑞西、葡萄牙三國は民主國なり。英、佛、獨、伊、奧、露の六國は國勢特に盛大なるを以て、歐洲の六大強國と稱せられ、英、佛、獨、白、葡、蘭六國は他の大洲に本國よりも遙に廣き領土を有せり。

土耳其、セルビヤ、ルーマニヤ等の數國を除き、他は皆我が條約國にして、我が國は大使館を英、佛、獨、伊、奧、露六國の首府に、公使館を瑞典、和蘭、西班牙、白耳義四國の首府に、領事館を我が國と關係深き主要なる商業地に置く。

第二章 歐羅巴露西亞 (面積約三十四萬方里 人口約一億三千餘萬)

一、境域。歐羅巴の東部にあり、東の方亞細亞露西亞に連る。面積我が國の約八倍に當り、歐洲の半以上を占む。

二、地勢。地勢の大體は單調なる一大平原を成し、僅に東境にウラル山脈あるのみ。

内地に一帶の隆起地ありて、諸大河の分水界を成す。其の最も著しきは國の中央より少しく西に偏せるバルダイ丘陵なれども、其の最高點も僅に一千二百尺にして、西北にあるフィンランドも丘陵地たるに過ぎず。

又裏海沿岸地方は地中海の水準以下に位し、地球上の窪地中面積最も廣大なるものなり。

ウラル山脈の最高點テルボス山は七千尺に達せず。其の峠も勾配甚だ緩なり。故にウラル山脈は國の東境にあれども、帝國領土の統一と擴張とを妨ぐる如き天然の墻壁を成さず。

大河甚だ多く、南流するものにはウラル・ボルガ・ドニエプル・Volga Dnieprの四河、西北に流るるものにはネバ・ヅナ・ウイスツラのDon三河北流するものにはドビナ・ペチョラのDon Dvina Petchora二河あり。これ等の諸河は水源地方まで舟を通じ、且運河を以て互に聯絡するが故に、裏海又は黒海より内地を通過して、バルチック海に至り得べし。Baltic

西北部には湖甚だ多く、其の湖岸線非常に錯雜せるを特色とす。中にもラドガ・オネガの二大湖ありて、ネバ河に通ず。Ladoga Onega

三方海に沿へども、北氷洋方面及びバルチック海岸は冬季永く氷結す。又東南面の裏海は無口の鹹湖にして、南面の黒海は土耳其に屬する狭き海峡を経て、僅に地中海に通じ、

海面の利用意の如くならざるは、露西亞帝國版圖の缺點なり。

三、氣候及び天産。氣候は大陸性にして寒暑共に甚し。

中部以北は高緯度に位するを以て、冬季の寒氣甚だ嚴なり。極北部は、凍土帯Tundraにして、樹木なく、僅に蘚苔を生じ、夏季には表面融解して卑濕なる沼澤地を成し、馴鹿其の間を徘徊す。

中部以北は森林帯にして、開拓せられたる部分はライ麥・大麻等の産多し。

南部の一部は黒土帯にして、北は畧ボルガ河の上流に限られ、土地肥沃にして露西亞の穀倉と稱せらる。一部は黒海及び裏海附近の草原地方にして、其の中西半部には牧場

馬二千二百萬頭
牛三千三百萬頭
羊四千四百萬頭
豚頭一千萬頭

甚だ多し。

四、産業。 國民概ね農業に従事し、燕麥・ライ麥・小麥等の穀物及び大麻・亞麻の産出甚だ多し。 大麻及び亞麻^{Flax}の産額は世界第一、小麥の産額は世界第二なり。 此の國は其の餘剰の穀物を西歐諸國に輸出す。

牧畜の盛なること歐羅巴第一に位し、従つて革(ロシヤ革)羊毛の産出甚だ多し。

森林の利用未だ十分ならず。 鑛産にはウラルの白金世界第一にして、金・鐵・滿俺・石炭等の産亦多し。

工業は次第に起り、綿絲紡績は英・米二國の次に位し、織物業・金屬工業・製糖業亦甚だ盛なり。 工業は西北部に盛にして其の最大中心を舊都モスコウ^{Moscow}とす。

此の國は東隣の亞細亞洲に對しては、工業國として内外の製造品を賣り、綿及び諸種の原料品を買ひ、西方の歐洲諸國に對しては、農業國として穀物・麻類を賣り、製造品を買ふ。 工業の資本と技術者とを多く外國に仰ぎ、規模一般に小にして、且工場は都會に少く、村落に多し。 農民は永き冬季の間職工となりて、工業の中心地に入り込むもの多し。 面積廣大にして、交通比較的これに伴はざるを以て、所謂年市尚行はれ、全國の約中央にあるニジニノブゴロド^{Nizhni Novgorod}これが大中心なり。

外國貿易近時盛大となり、主として獨英二國とこれを行ふ。 主要輸出品は穀物・材木・麻卵等にして、主要輸入品は機械・綿羊毛・金屬器・茶・石炭等なり。 北部は首府ペテルブルグ^{St. Petersburg}、

南部はオデッサ^{Odessa}を貿易の中心とす。然れども輸出入の總額は面積人口に比して尙少く、全帝國を通じて我が國の二倍に過ぎず。

五、交通。河川運河の水利甚だ大にして、又冬季氷結の際には水路變じて良好の橈道となる。故に廉價なる交通路として、河川は從來大に此の國の發達を助けたり。鐵道は次第に延長せられ、亞細亞露西亞と聯絡す。義勇艦隊は平時黒海のオデッサ港を起點として、東洋に航路を開けり。

六、住民。人口約一億三千餘萬、歐羅巴人口の約三割を占む。農業國なれば村落多く、大都會少し。

地域廣大にして、地勢に障礙なきが故に、數多の人種轉住して居を占め、國民種族の複雑せること他に比類稀れなり。

其の中スラフ種族^{Slavs}最多數を占め、露國の代表的人種とす。性質稍粗野なれども、氣象遠大、忍耐力に富み、其の信奉する國語・宗教を同じくし、國民の統一に著しき困難を見ず。唯貴族と平民との調和を缺けるを缺點とす。

西北部にフィン人^{Finn}、東南部に土耳其人あり。此の外猶太人五百萬人ありて、世界猶太人の一半を占め、一般の露西亞人に虐待せらる。

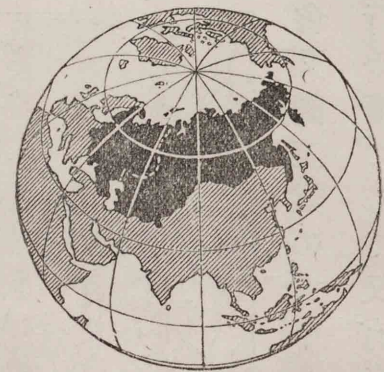
國教たる希臘教(正教)弘く行はれ、皇帝は兼ねて宗教上の首長たり。舊教・新教これに次いで行はる。一般人民に對する僧侶の勢力甚だ大なり。

高等及び中等教育盛にして、九大學あれども、初等教育未だ普及せず。

七、政治。此の國は從來君主專制國なりしが、近年立憲君主國となり、議會は參議院及び代議院の二つより成る。軍備には平時百五十萬以上、戰時約四百萬の陸軍兵ありて、其の數世界第一に位し、最も強盛を以て聞ゆ。海軍は其の海面に従ひ、バルチック・黒海・裏海・太平洋の四艦隊に分る。其の精銳は日露戰役に殆ど全滅せられたれども、海軍力尙伊太利に匹敵し、建設中の軍艦甚だ多し。

バルチック艦隊はフィンランド灣頭のクロンスタットCronstadt(冬季はリバウの不凍港)を、黒海艦隊はクリミヤ半島のセバストポルを、裏海艦隊はアストラハンを、太平洋艦隊は浦潮斯德Sebastopolを根據地とす。

此の國の沿岸は冬季概ね氷結の不便あれども、碎氷船に



全露西亞帝國の版圖を示す圖

よりにて艦船の出入に差支なし。唯各海面大に隔離し、或は全く聯絡なきこと、バルチック海の門戸は他國の領土に圍まれたること、條約によりて黒海艦隊の地中海に出づること能はざること等を缺點とす。

全露西亞帝國の版圖は世界陸地の約六分の一を占め、歐羅巴の東部より連りて、亞細亞の北部に及び、其の東端は我が國に密接し、彼我の關係甚だ複雑を極む。近時日露協約を結びて、親交の度日に加はるに至れり。歐羅巴露西亞は更に露西亞本部・フィンランド・ポーランドの三部に分る。

八、地方誌。首府 St. Petersburg, 187 彼得ルブルグはベテロ大帝の建設せし

都會名左側の數字は人口を(單位一萬)を示す

ベテルブルク及び附近略圖
 1 ベテルブルク
 2 航路
 3 クロニスタ
 4 コトリン島
 5 ネバ河

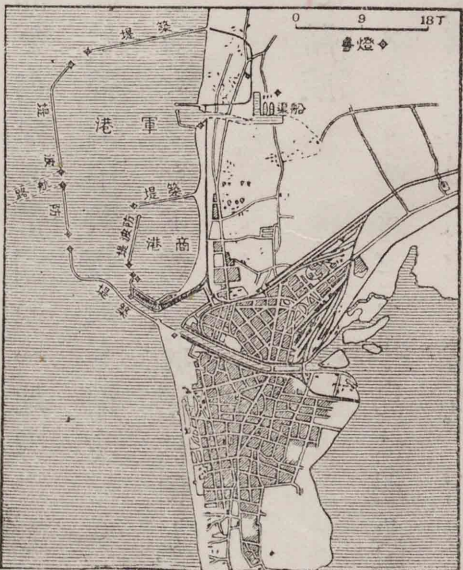


會又商工業の大中心なり。此の國の舊都、皇帝の戴冠式舉行の地にして、又有名なる巨鐘及び大砲を存す。壯麗なる

所、露國第一の都會なり。フィンランド灣頭に位し、ネバ河に跨り、宏壯なる宮殿・官衙、有名なる大學・圖書館あり。クロニスタットには堅固なる砲臺あり、國都を防禦す。リガは同名の灣頭、ツナ河口に位し、穀物・亞麻・卵材木等の輸出多く、此の國第三の貿易港なり。リバウは有名なる軍港なり(前を見よ)。モスクュー(モスクバ)は全國の中央附近に位し、此の國第二の都

リバウ略圖

寺院ありて、ドニエプル河畔のキエフと共に希臘教の靈地たり。ニジニノブゴロドはボルガ河の上流と支流オカ河との會合點にあり。夏季の大市には歐亞諸國の商人來集し、取引高約二億圓に達すと云ふ。



オデッサは黒土帶の門戸にして、小麥の輸出多く、此の國第二の貿易港なり。東南のクリミヤ半島にセバストポルの軍港あり。アストラハンはボルガ河の三角洲に位し、水産物の大集散地なり。裏海貿易の中心にして、中亞細亞及

びユーカシヤとの貿易甚だ盛なり。アルハンゲルは白海
の東隅に位し、魚類毛皮木材の輸出盛なり。

ポーランド。國の西隅を占め、舊ポーランド王國の一部
なり。舊都ワルソー(ワルシャワ)と、其の西南にあるロツとは

Warsaw (Warszawa) (76) Lodz

工業の中心にして、ロツは特に綿絲業を以て名高し。

フィンランド。國の西北部を占むる帝國の一地方にして、
Finland

特別の憲法を定め、議會を設け、帝國中教育最も進歩せり。

首府ヘルシングフォルスは、フィンランド灣の北岸に位し、堅
固なる要塞あり。 Helsinki

第三章 瑞典及び諾威

Sweden Norway

一、スカンデナヴィヤ半島。スカンデナヴィヤ半島は瑞典、諾

威二國の占むる地域にして、露西亞の西北に當る。面積約

Pinoshu + 考島島島島

11 103 793
3 3 3 3

145 145 10 10 10
145 145 10 10

五萬方里あり。

地勢高原性にして、西側に急斜し、東側に緩斜す。其の脊

梁を成せるスカンデナヴィヤ山脈は稍西岸に偏して走り、北

部にキオレン山脈の名あり。南部は甚だ高く、最高點ガル

Kielden

ヘッグは八千五百尺を超え、氷河を養ふ。西岸には峽灣深

Gaullhogig

Fjord

く入り、無數の島嶼前に羅列し、大西洋の荒波を拒ぐ。東岸

は一帶の平地相連り、港灣の出入に乏し。

半島の分水線は西岸に偏するを以て、西側なる諾威の河

は短く、峽灣の絶壁を流下して幾多の大瀑布を生ず。東側

なる瑞典の河(エルフ)は並流して、多くは途中に狭長なる湖

湖

を成し、所々に急流・瀑布を生ず。故に舟運の利小なれども、

水量の調和自ら成り、工業上水力の利源甚だ大なり。

Poteltyp

所得 所得 所得 所得 所得 所得 所得 所得 所得 所得

178 190

半島は到る所風景甚だ美にして、夏季は觀光の外客群集す。

西側なる諾威は暖流の影響を受け、氣候溫和にして、最北の峽灣も冬季氷結せず、且近海の水産甚だ豊富にして、殊にロフオデン諸島は鱈の漁獲世界に比なく、西南岸は鯨の漁獲盛なり。瑞典は氣候稍大陸性なれども、地味肥え、農産多く、松・樅等の山林に富む。

瑞典・諾威は外交上久しく一王國をなししが、近時全く分離せり。

二、瑞典(面積約二萬九千方里。人口約五百五十萬)。住民は概ねチュートン種族にして、教育甚だ普及せり。北部にはラップ人あり、馴鹿を家畜とし、漁獵を營み、文明の程度低し。

農業は住民の主なる産業にして、燕麥の産多く、牧畜これに次ぐ。木材・バルプ(製紙原料)・マッチ軸木等の林産多く、マッチは此の國の名産なり。又良質の鐵鑛に富み、古來双物の製作に名高し。石炭に乏しけれども、近時水力の利用到る所非常に盛大にして、工業及び交通の發達甚だ著し。

鐵道次第に延び、國境を横斷して、諾威の海岸ナルビックNarvikに達し、地球上の鐵道中最北の地點に到る。

首府ストックホルムはバルチック海に近きメラル湖脚Mälarenに位し、數多の島上に立ち、風光明媚なり。ゲテボルグGöteborgは第一の貿易港なり。ストックホルムの北方に當れるウプザラUppsalaは有名なる大學の所在地なり。

三、諾威(面積約二萬一千方里。人口約二百四十萬)。水産業は國民第一の産業にして、

林業これに次ぐ。

一般に地勢急峻にして耕地に乏しきが故に、穀物不足なるのみならず、工業未だ盛ならずして、輸入の超過常に大なるれども、商船の噸數は世界第四に位し、運賃の收利甚だ大なり。住民はチュートン種族最多數を占め、北部にラップ人あり。國民探檢を好み、海事に馴れ、人口の三分の二は海岸に住す。此の國は近時全く瑞典より分離して獨立の王國となり、英・佛・獨露の四國は此の國の領土保全を保護せり。

首府クリスチヤニヤは又第一の貿易港にして、ベルゲン Bergen は水産物取引の大中心なり。トロンドエムは舊都にして、北緯約六十四度に位し、ハンメルフェストは北緯七十度を超え、地球上最北の都會なり。 Trondhjem Hammerfest

汽船百四十二萬噸
帆船五十九萬噸

第四章

丁抹 Denmark 面積約二千六百萬方里
人口約二百六十萬

一、通説。 ユトランド半島の北部及び附近の島嶼より成り、面積約我が九州に等し。其の位置バルチック海と北海との間に位し、スカゲルラク及びカテガットの海峡を隔ててスカンデナビヤ半島に對す。 Jutland Skager Rak Kattegat

地勢概ね低平にして、海岸地方は砂丘相連り、沼澤多し。海岸出入多く、リーム峡灣は半島の東西兩岸を通ず。氣候稍溫和なれども、夏季は濃霧屢起る。 Linn

土地の八割以上は生産地にして、農業は第一の産業なり。耕地兼併の禁止により、小地主の數多く、共同して農業の改良を圖る。牧畜は農業に次いで行はれ、畜産甚だ多く、牛酪(バター)は輸出品の首位を占め、豚これに次ぐ。

馬二百五十萬頭
牛七百廿三萬頭
羊四百七十三萬頭
豚百四十七萬頭

住民はチユートン種族にして、國民勤儉貯蓄の氣風に富み、人情・風俗・言語スカンデナヴィヤ半島に似たり。

此の國は立憲王國なり。戰時の陸軍兵も僅に五萬に過ぎず。

二、特説。 首府コペンハーゲンCopenhagen(51)はジールランド島の東岸に

位し、バルチック海の門戸を扼す。此の國の領地には、アイス

ランド島・西印度諸島の一部及びグリーンランド沿岸の

Iceland

一部あり。アイスランド島は本國の二倍より大にして、火山多く、間歇泉に富む。

第五章 獨逸(面積約三萬五千方里
人口約六千四百萬)
Germany(Deutschland)

一、境域。 歐羅巴洲の約中央に位し、數多の國に隣接し、列國との關係常に複雑なり。

二、地勢。 北部は一面低平なる北獨逸平原にして、ユトラ

ンド半島(南部のみ此の國に屬す)突出す。海岸は一般に低平にして、北海の

岸には往々海面より低き所あり。又バルチック海の海岸は

砂嘴(ネールング)多く、中に澤湖(ハッフ)を抱く。

Kehring

Haff

南部は高地にして、山脈縱横に走り、高原・臺地・低地其の間に交りて、地勢頗る錯雜を極む。即ちユラ山脈(Julia)の續きは西

南より東北に延びて、南境のアルプ山系との間にババリヤ

Bayaria

高臺を成し、西境のフォゲーゼン(Fogesen)とこれに並走せるシュワルツ

Schwarzwald

ワルドとの間にはライン河上流の低地を挟み、又ハルツ山

Harz

地は北部低地との境に當る。南境の山脈はアルプ山系の最北部にして、其の最高點ツィグスピツェ山(Zugspitze)は殆ど一萬尺

に近し。

河は地勢に従ひて多く北流す。即ち北海の斜面にライ
Rhine
 ン・ウHeゼル・エルベ、バルチック海の斜面にオーデル及びウイス
Waser ヲラあり。唯ダElbeニユーア河のみ東流し、黒海の斜面に屬す。
Danube ライン河は瑞西より來りて獨逸に入り、大支流マイン河
Main を合せ、合流點以下獨逸南部の高地を流れて、北部の平原に
 移る間、其の流れ急にして、兩岸相迫り、城趾・名蹟は森林・葡萄
 園の間に隱見し、風景描くが如し。國民の本河を讚美する
 こと非常にして、「父ライン」の通稱あり。其の水路は歐洲の
 中央を貫き、河上貿易の盛大他に比無く、獨逸西部及び瑞西
 の貨物は大に本河の水利に依る。本河の河口に近き和蘭
 ロッテルダムの仲繼貿易非常に盛大なるも本河の賜なり。

三、氣候。 歐洲氣候の通性により、西南より東北に赴くに

馬頭 四千萬頭
 牛頭 二千八百萬頭
 羊頭 二千三百五十萬頭
 豚頭 三百五十萬頭
 山羊頭 三百五十萬頭

從つて、氣溫次第に低く、ライン河沿岸最も溫和なり。又北
 海の岸は溫和なれども、バルチック海の岸は冬季氷結す。地
 勢北部に低く、南部に高きが故に、氣溫は南北に於て著しき
 差なし。

四、産業。 農業は非常に進歩し、肥沃なる南部及び西部の
 河谷は勿論、北部・東部の瘠地に至るまで、到る所よく開け、耕
 地は全國の半を占め、不生産地は僅に全國の一割に満たず。
 國民の約三分の一は農業に従事し、農産物は麥類・馬鈴薯・ホッ
 プ・甜菜・葡萄を主とす。甜菜は中部河谷附近の平地を主産
 地とし、葡萄は氣候の溫和なるライン河谷に多し。牧畜亦
 盛にして、北部の低濕地、中部及び南部の山腹と河谷とに牧
 場甚だ多く、牧場は全面積の六分の一を占む。

全土の四分の一は森林にして、其中三分の一は潤葉樹林、他は針葉樹林なり。潤葉樹林は氣温の高き西部に、針葉樹林は低温なる東部に多し。學理の應用よく行はれ、林業の進歩世界の模範たり。

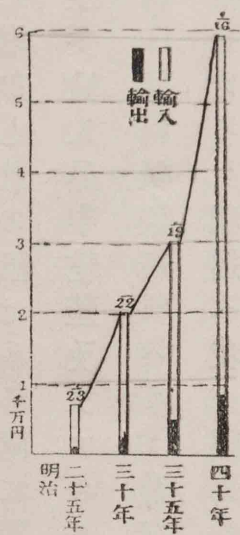
礦物に富み、鐵は米國に次ぎ石炭は米・英二國に次ぎ、亞鉛の産額他に比なく、岩鹽の産亦多し。鐵及び石炭はライン河の下流地方、西南部のエルザス、ロートリンゲン、東南部のシレシヤ等に多し。
Alsace-Lorraine (Elsass-Lothringen)
Silesia

工業は近時急激に進歩して、英・米の二國と競争の位置に立てり。甜菜糖及び麥酒の産額は共に世界第一に位す。製鐵の産額世界第二に居り、特殊の鋼に於て世界獨特の長所を有し、織物及び化學工藝品の産亦甚だ多し。特に石炭

に富めるライン河下流地方は全國中工業最も盛大なる部分なり。

商業も非常に盛大を極め、英・米二國に對抗し、東洋の市場に於ても其の勢力日に大なり。外國貿易の進歩近來特に著しく、輸出入額は殆ど八十億圓に達し、英國の外これに及ぶものなし。輸入品は小麥・大麥等の食料品を第一とし、綿・革・羊毛等これに次ぎ、輸出品は鐵織物・機械等を主とし、對手國は英・米二國を第一とし、露・墺二國これに次ぐ。

日獨貿易累年比較圖
(分數は我が全貿易に對する比を示す)



海上貿易の中心はハンブルグを第一とし、ブレーメンこれに次ぐ。
Hamburg
Bremen
我が國との貿易も近年大

明治四十三年日
獨貿易額
輸出 一一一七
輸入 四三九五

に増加し、此の國は我が國に對し、多く賣り少く買ふ。我が
主要輸入品中、乾藍及びアニリン染料の殆ど全部、鐵製品藥
材、印刷料紙、製紙料、バルプ及び毛絲の大部は此の國より供
給せらる。獨逸へ我が國より輸出する商品は價額の殊に
大なるものなく、羽二重銅を稍著しきものとす。

五、交通。鐵道の長さ三萬七千哩を超え、河川運河を通じ
て内地航路の長さ八千五百哩に餘る。又ユトランド半島
の頸部にあるキール運河(本名カイゼルウイヘルム運河)
はバルチック海と北海とを直通し、軍事上商業上の利甚だ大
なり。

商船の噸數世界第三に位し、航路は東亞の海上にも及び、
ハンブルグを第一の中心とし、ブレーメンこれに次ぐ。

四百三十三萬噸

六、住民。人口の増加著しく、年々約八十萬人を増加す。
外國特に米國に移住するもの甚だ多く、南米の伯刺西爾に
も獨逸人の都邑次第に發達す。人種はチートン種族にし
て、東境にはスラブ種族を見る。宗教は北部には新教、南部
には舊教行はる。

教育甚だ盛にして、二十一大學あり、大學生の數六萬人に
近し。近時我が國人の留學するもの甚だ多く、我が國陸軍
及び醫學從來の進歩は此の國に負ふ所甚だ大なり。

高等及び實業教育は世界の模範にして、ベルリン・ライプ
チヒ・ミュンヘンの大學特に有名なり。實業教育の完全なる
ことは此の國實業盛大の一原因なり。圖書の出版亦甚だ
盛にして、ライプチヒは特に有名なり。

チヒ・ミュンヘン
(Leipzig) Munich(München)

Berlin
Leipzig

七、政治。四王國と、六大公國、五公國、七侯國、三自由市及び一國領の聯邦より成り、皇帝は普魯西國王これに當る。聯邦中四王國は普魯西・Prussia、Bavaria (Bayern)、Saxony (Sachsen)、及びウュルテンベルヒ、三自由市はハンブルグ・Hamburg、ブレームン・Bremen、リユベックの三港市、一國領はエルザス・Alsace-Lorraine (Elsass-Lothringen)、ロートリンゲンなり。普魯西王國最も大にして、帝國の中部以北は殆ど其の域中に入り、面積・人口共に全帝國の約六割を占む。他の三王國は南部にあり。其の他の小聯邦は諸所に散在して、區劃極めて複雑なり。議會は聯邦を代表する聯邦議會と國民を代表する國民議會とより成る。

皇帝は外國に對して獨逸帝國を代表し、宣戰・講和の權を有す。然れども戰の性質防禦的ならずして、進攻的なること

きは必ず聯邦議會の協賛を要す。

陸軍は甚だ精銳にして、常備六十餘萬、戰時約百八十萬の兵あり。近時海軍の擴張急劇にして、大艦の數は英國の外これに及ぶものなし。バルチック海のキール及び北海岸のウイルヘルムスハーフェンを主なる軍港とす。Wilhelmshaven

獨逸帝國の建設は最近の時代にあれども、經濟上・軍事上國力の進歩非常に大にして、亞弗利加洲・大洋洲等に於て本國に五倍せる領地を有し、又清國の膠州灣を租借して東洋艦隊の根據地とし、大に東亞の經營に意を用ふ。

主要なる領土は亞弗利加の西南部、東部、Togoland、トーゴランド・カメルン、大洋洲のニューギネヤの一部、Bismarck、ビスマルク・マルシャル・カメ룬、Kamerun、New Guinea、Marshall、Caroline、Marianne、マリアナ諸島等なり。

八、地方誌。 Berlin (207) ベルリンは北部平原の中央附近に位し、普魯西王國の首府にして、且帝國の首府たるのみならず、全國商工業の中心なり。

Hamburg(93) ハンブルグはエルベ河の岸に位し、此の國第一の貿易港なり。滿潮には大船も河口のクックスハーフェンよりここに達し得べし。河身を浚渫して完全なる港を築き、出入船舶の多きことロンドンを凌ぐに至り、世界第一の汽船會社たるハンブルグ亞米利加會社の汽船は此の地を根據地とす。 Magdeburg マグデブルグはエルベ河の左岸に位し、製糖業の中心なり。 Dresden(55) ドレスデンはエルベ河に跨り、サクソニヤ王國の首府にして、美術工藝を以て名高く、精巧なる陶器の名産あり。此の外サクソニヤ王國には Leipzig(Leipzig) (59) ライプチヒ及び Chemnitz ケムニツ

の二大都會あり。

Bremen ブレーメンはウェーゼル河口に近く、河口の Bremerhaven ブレーメルハーフェンと相待つて此の國第二の貿易港となり、此の國最大の船渠あり。世界各國に航路を開ける北獨逸ロイド會社の汽船はブレーメルハーフェンを根據地とす。

ライン河の下流地方は鐵石炭の産に富み、工業の盛大なること全國中他に比少く、Crefeld クレフェルドの製絹業は佛國リヨンの外これに及ぶものなく、又支流 Ruhr ルール河沿岸地方のエッセンには有名なるクルップ鐵工所あり。 Krupp ケルンにはライン河の岸に位し、商業及び交通の大中心にして、寺院の高塔世に名高し。 Frankfurt-on-the-Main (Frankfurt-am-Main) フランクフルトアムマインはライン河の支流マイン河の岸に位し、軍事上、商業上の要點なり。 Strassburg ストラスブ

ルグはライン河の岸に位し、エルザスロートリンゲンの首府にして、佛蘭西・瑞西に近く、古來通商の要點なり。普佛戰爭に名高きメッツは其の西北に當る。

ドレスラウはオーデル河の上流に位し、附近工業地の中心を占め、交通上・商業上の要點なり。

ミンヘンMünchen (60)はババリア王國の首府なり、良好なる麥酒の産を以て名高く、又有名なる圖書館あり。ババリア王國には此の外工業の中心として、ニュルンベルヒNürnbergあり、特に鉛筆の製造を以て知らる。

其他バルチック海の沿岸にキール・リュベック・ステチン・ダンチヒの諸港あり。北海の岸にウィルヘルムスハーフェンの軍港あり。我が軍艦八雲はステチンにて製造せられ、キール

Kiel Lübeck Stettin

Wilhelmshaven

ル運河を通過して本邦に回航せしものなり。

第六章 奥地利洪牙利(面積約四萬三千方里 人口約四十九百萬)

Austria-Hungary

一、境域。歐羅巴の畧中央を占め、僅に西南の一部のみアドリヤ海に沿ふ。面積我が國より少しく小なり。

Adriatic

二、地勢。地勢の複雑なること歐洲中他に比類少し。西部にはアルプ山系連亘し、風景絶佳なるチロル地方を成し、

Tirol

最高點オルトレルスピッツェは約一萬三千尺に達す。アル

Ortlerspitze

プ山系の支脈デナルアルプ東南に走り、アドリヤ海の岸に

Dinaric Alps

沿ひ、其の一部にカルスト地方ありて、石灰岩窟及び地下の

Karst

河湖に富む。

東北部にはカルパチヤ山脈半圓形を描きて走り、トラン

Carpathian

シルバニアアルプ山脈に連り、此の圓形の内側は洪牙利の

Transylvanian Alps

平原を成し、プスタの名あり。又北部にはボヘミヤ山地あり。

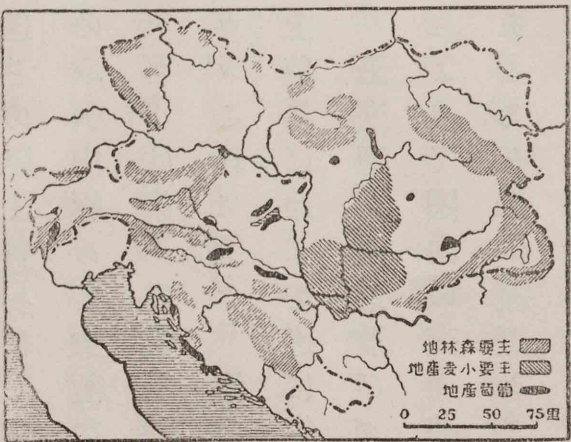
此の國は温泉及び鑛泉を以て名高く、總數約三千に達す。大部はダニュープ河の流域に屬し、又ボヘミヤ山地はエルベ河の流域に屬す。二河の河谷は主要の交通路たり。

三、氣候。西南の海岸地方は溫和なれども北方は稍大陸性氣候を有す。洪牙利平原の中部は夏季は雨少く、一部は草原を成す。

四、産業。農業は産業の第一位を占め、麥類を第一とし、甜菜、馬鈴薯、葡萄の産亦多し。洪牙利平原の小麥は良質の名高く、獨逸及び瑞西に輸出せらる。又甜菜の栽培は奥に最も盛なり。牧畜は農業に次ぎ、殊にプスタ地方は名馬

馬 一千四百萬頭
牛 一千六百萬頭
羊 一千二百萬頭
豚 一千二百萬頭

奥洪國の實業圖
其の一



を出す。山地の林業亦甚だ盛なり。

鑛物には石炭、鐵、岩鹽の産額多く、金、水銀、石油の産亦少からず。

岩鹽はウィリツカを最も有名な産地とし、イドリヤの水銀古より名高し。

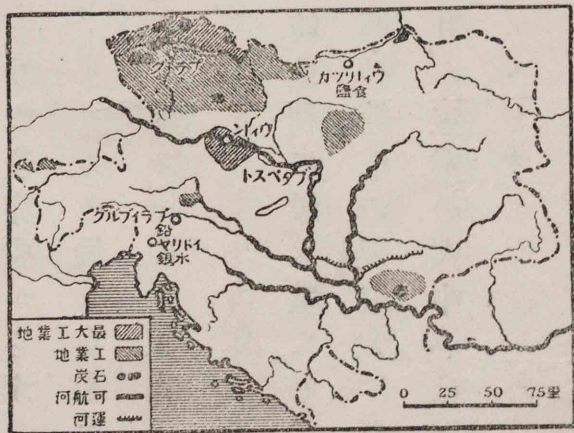
工業は奥地利に最も盛にして織物、鐵、釀酒、砂糖、革の製造大に行はれ、ボヘミヤのガラス古より名あり。工業の大中心は奥のウィーン、プラグ及び洪のブダペストとす。

外國貿易は英、獨、佛諸國に比して遙に下位にあり。主要

奧洪國の實業圖
其の二

輸出品は木材・砂糖・家畜・鶏卵・ガラス等にして、主要輸入品は綿・石炭・羊毛・絹・機械等なり。大部分は獨逸との陸上貿易にして、我が國との取引尙極めて少額なり。トリエストは第一の貿易港にして、フィウメこれに次ぐ。海上貿易は陸上貿易に比して遙に劣れり。

五、交通。 鐵道及びダニューブ河によりて、國內の交通甚だ便なり。唯同河口の他國領土にあること、海岸線短きこと、海港及び内地間に山脈を隔つること等を缺點とす。政府はアドリヤ海と内地との聯絡に



意を用ひ、産業及び交通の面目を一新せんことを力む。

六、住民。 人種の複雑なること露西亞に次ぐ。最も多數

なるはスラブ種族にして、最も優勢なるは獨逸種族なり。

奥には獨逸種族最も多く、奥の中ボヘミヤ地方にはスラブ

の一支チエヒ人最も多し。洪牙利にはマジヤール人最も多く、

東洋の風習を存す。奥洪國を通じ、猶太人約二百萬人あり。

宗教は舊教最も行はれ、新教・希臘教これに次ぎ、猶太教徒亦

甚だ多し。人種・風習・言語・宗教雜駁にして、國民の統一を缺

き、統治上の困難少からず。

教育は奥に於ては進歩し、高等教育上特に醫科に名高く、

八大學あり。洪には未だ普及せず、三大學あるのみ。言語

一定せざるため、初等・中等・高等教育を通じて、同一地方にて

も言語を異にせる二種又は二種以上の學校を設くる所ありて、教育上の障碍少からず。

七、政治。 奧地利洪牙利は奧地利帝國と洪牙利王國とより成り、陸海軍、財政、外交の外、内治は全く別なり。 陸軍は平時約四十萬、戰時約八十萬の兵あり。 海岸線短く、海外に殖民地なし。 従つて強大なる海軍力を有せず。 近時バルカソン半島のボスニヤ及びヘルゼゴビナを合併せり。

八、地方誌。 奧地利。 ウイーンはダニュープ河に沿ひ、 奧地利洪牙利の首府にして、風俗の華美ハりに次ぎ、有名なる醫科大學及び博物館あり。 美術工藝品の製作に名高し。 プラグはボヘミヤ地方の中心地にして、エルベ河の支流に沿ふ。 市の住民は主としてチェロ人及び獨逸人より成り、互に

反目して大學も二箇各別に有するに至れり。 インスブルックは、チロル地方の中心にして、南の方ブレンネル峠により、 伊太利北部の平原に通じ、古來交通の要點に位す。 トリエストはアドリヤ海に臨み、此の國第一の貿易港なり。 ボラは軍港にして、有名なる造船所あり。
洪牙利。 ブダペストは洪牙利の首府にして、大平原の中央附近に位し、 ダニュープ河に跨り、 ブダ及び ペストの二部より成る。 洪牙利商工業及び交通の大中心にして、製粉業世に名高く、屠畜業亦盛なり。 市内には地下の電車鐵道を通ず。 フィウメはアドリヤ海に臨み、 トリエストに次いで第二の貿易港なり。

九、リヒテンスタイン。 奧地利と瑞西との間に位し、面積

僅に十一方里、人口一萬に満たざる獨立の公國なり。

第七章 瑞西面積約二千七方里
人口約三百七十萬
Switzerland

一、地文地理。歐洲の中央にある半圓形の小國にして、佛獨・奧・伊四國の間に介在し、海岸線を有せず。面積略我が九州に等し。アルプ山系は國の大部を占め、全土の位置歐洲諸國中最も高きが故に、氣温稍低し。

アルプ山系中最も高山に富めるは此の國の南境にありて、ライン・ローヌ等諸大河の水源地を成し、マッテルホルン・モンテローザ・ユングフラウ等の高山其の中に聳ゆ。ライン河は北流してボーデン(コンスタンス)湖に入り、ローヌ河は西流してジネバ(レマン)湖に入り、共に國外に出づ。これ等河湖の沿岸には概ね狭き平地ありて生産力に富む。

此の國は急流瀑布湖水氷河に富み、風景の美歐洲第一にして、特にアルプの登山は最も壯快なり。

二、人文地理。大部は地勢急峻に過ぎ、農産に乏しけれども、林産畜産甚だ多し。國民は地勢上莫大なる運賃を拂ひて、粗大なる製品を輸出するの不利なるを知り、水力汽力の利用により、技巧を要する工藝を盛大にし、織物時計等精良なる物品の製造に巧みなり。故に鐵石炭に乏しけれども、工業盛大を極む。又觀光の設備周到にして、外客群集し、此の國の受くる利益甚だ大なり。

外國貿易は人口に比し大に發達し、我が國へ時計及びモスリンを輸出す。山脈四方を圍めども、鐵道により内外の交通至便なり。

シンプロン大隧道は長さ約十二哩にして、世界第一に位す。
St. Gothard(San Gothardo)
 サンゴタルド大隧道は長さ約九哩にして、世界第二に位す。これ等の大隧道は歐洲北部及び西部より南部を経て東洋に至る最短距離の線路に當る。

住民の種族は一ならず。其の三分の二を占むる獨逸人は東部に多く、これに次げる佛蘭西人は西南部に、伊太利人は東南部に多し。又在留外國人約四十萬あり。新教弘く行はれ、舊教これに次ぐ。教育は進歩し、六大學あり。

民主政體にして、二十二州の聯邦より成り、大統領は行政部の長たり。近世列國間の協定により、永世局外中立國と認められ、其の地勢は天然の要害となり、常備軍の設けなけれども、國民は兒童に至るまで兵事の訓練を受け、勤儉尙武

の氣象に富む。

三、地方誌。都邑は河岸又は湖畔にありて、風景の美を以て名あるもの多し。首府Bonnベルンは國の西部にあり、Aarアール河に沿ふ。萬國郵便及び電信事務局あり。Luxemburgルツェルンは國の中部にあり、附近に有名なる氷河公園あり、氷河時代の遺跡を示す。湖を隔てて東方の對岸にRigiリギ山、又南方にPilatusピラッス山あり。急勾配の鐵道ありて其の頂上に達す。Zürichチューリヒは同名の湖の西北隅にあり、此の國第一の都會にして機業盛なり。Baselバーゼルはライン河の屈折點に位し、絹織物業盛なり。Geneve(Genève)ジネバは同名の湖の岸にあり、風景絶佳にして觀光の外客多し。時計の製造盛にして、又萬國赤十字社本部の所在地なり。

第八章

佛蘭西 (面積約三萬五千方里
人口約三千九百萬)

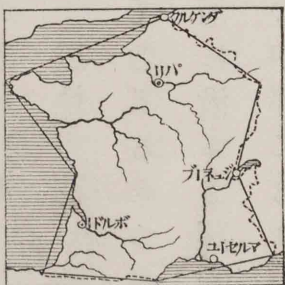
一、境域。西部歐羅巴の約中央に位し、大西洋と地中海との中に介まり、西北は英吉利海峽を隔てて英吉利に對す。面積我が國より小なり。

佛蘭西の輪廓は大體に於て一種の八角形を成し、其の二角は凹入せり。

二、地勢・氣候。

國の中央より少しく東南に偏してオーベ
ルニュの高原あり、死火山に富む。此の高原
の西北に接する一帯の地は概ね平坦にし
て、歐羅巴北部大平原の一部を成す。セー
ヌ・ロアール・ジロンド(ガロンヌ及びドルド
ーニュ二河の合流)の諸大河は中部の高地に

佛國の輪廓圖



發し、此の平原を流れて海に注ぐ。東南の國境附近にはア
ルプ山系連亘し、歐洲第一のモンブラン山此の中に聳ゆ。
アルプ山系と中央高原との間は瑞西より來れるローヌ河
の河谷なり。アルプ山系の西北に並走し、瑞西との境にユ
ラ山脈弓形を成して走り、又ピレネー山系は急斜面を以て
西班牙との國境に連る。

海岸はブリタニー・ノルマンディー兩半島山地の海に迫る
所を除き、概ね低平なり。特にビスカヤ灣岸の南半、ランデ
(の荒地)地方は砂丘相連り、澤湖少からず。屬島には東南にナ
ポレオン一世の生地なるコルシカの大島あり、其の地伊太
利に近く伊太利語行はる。

氣候は一般に溫和にして、地中海沿岸に於ては冬季霜を

見ず、其の東部は氣候良好にして最も避寒に適し、ニース特
に有名なり。

三、産業。國民多くは農を業とし、北部は小麦・燕麥等の穀
物、南部には橄欖及び果物の産多し。又葡萄は北境を除き
到る所に産し、特に大河の沿岸に多し。従つて葡萄酒の産

額世界第一に位し、ボルドー附近
は産地の大中心なり。又有名な
るシャンパン酒は東北部より、クラ
レット酒は西南部より産す。牧畜
は特に北部に盛にして、フランス
革の名産あり、且羊毛及び毛絲を
我が國にも輸入するに至る。又

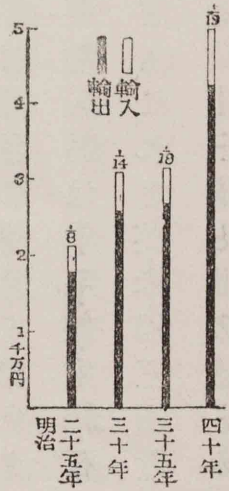


佛國の葡萄主産地附漁港圖
馬三萬頭
牛四萬頭
羊一千七百萬頭
豚七百萬頭

西北部の近海は、鯷・鯖・鯉等水産の利に富む。ローヌ河の河
谷は養蠶盛にして、製絹業の盛大世界第一に位し、リヨンは
斯業の大中心なり。製鐵・造船等の工業亦盛大を極め、精巧
なる陶器其の他美術工藝品の優秀世界に冠たり。唯鐵・石
炭の産地隔離せると、石炭の産額工業の盛大に伴はざると
を缺點とす。

大西洋・地中海の兩海面を控へて、商業の發展甚だ著し。
輸出入額は約五十億圓にして、世界第四位に居り、主要輸出
品は諸種の織物を第一とし、毛絲・葡萄酒・革等これに次ぎ、主
要輸入品は羊毛・綿・生絲・石炭等なり。貿易は斯く盛大なれ
ども、これを英米獨三國近時の大進歩に比すれば遙に劣り、
商業上三國と此の國との間に大差を見るに至れり。

日佛貿易累年比較圖
(分數は我が全貿易額に對する比を示す)



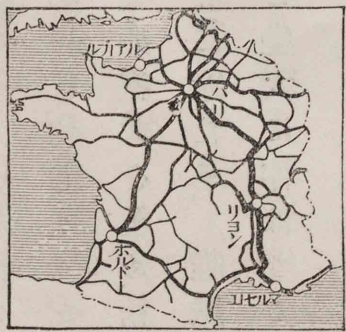
我が國との貿易も漸次其の額を増加し、此の國は我が國に對して多く買ひ、少く賣れり。蓋し此の國は我が生絲及び羽

二重の好華客にして、生絲を絹布の原料とし、羽二重に精巧なる意匠を加へて優美なる織物を産出す。又此の國はモ

スリン・羊毛・毛絲等を我が國へ輸出す。

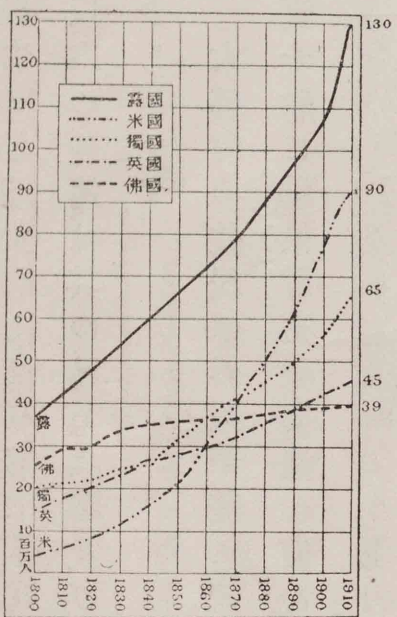
四、交通

諸大河の方向は多様にし、且支流に富み、分水界低くして、上流まで船を通じ、又運河を以て互に聯絡せられ、全土恰も一大河系の中にあるが如し。加ふるに河口は往々開て三



佛國の鐵道系略

英米獨露 一九一〇年人口比較圖
增加累年比較圖
英 一〇〇〇〇〇〇〇
米 九〇〇〇〇〇〇〇
獨 六〇〇〇〇〇〇〇
露 五五〇〇〇〇〇〇



角江を作り良港を成す。これ等河川運河の水利大にして、鐵道はハリ・リヨン・ポルドーを三大中心として諸方に延び、アルプ山系を通じ、モンズニの大隧道により、伊太利に入る。且國の位置三面に海を控へ、内外の交通至便なり。

五、住民

住民の出産率小なるを以て、人口の増加甚だ少し。人種はケルト種族にラテン及びチュートン種族を混ぜしものにして、ブリタニ半島には純粹なるケルト種族あり。又ピレネー山系中にはバスク種族あり。國民概ね舊教を奉じ、

教育の進歩大にして、美術に長じ、學藝に秀づ。我が國維新以來の發達は其の始め兵事及び學藝等此の國に負ひし所少しとせず。

大都會の住民は外觀華美に流るるが如くなれども、其實一般に勤儉貯蓄の美風に富む。又此の國の富豪の外國に放下せる資本額は甚だ多し。

歐洲諸國の交際社會には佛語外交文書には佛文多く用ひらる。
六、政治。政體は民主政體にして、行政權は大統領これを握る。
近世戰役の結果、國債の總額は列強の第一に位す。平時約五十萬

佛國の要塞略圖



要塞ノスラフ★ 國際ノ要塞★

戰時約百三十萬の陸軍兵を有し、海軍は世界第四に位す。東北境即ち獨逸及び白耳義との間には著しき天然境界の國防を助くるものなし。故に獨逸及び白耳義との國境附近には堅固なる要塞を配置し、又首府ハリ附近の防禦も亦甚だ嚴なり。

此の國の領地は廣大にして、其の面積本國の二十倍に餘り、多くは亞弗利加にあり。アルゼリヤ及び印度支那の一部を除き、一般に不生産的の地方少からず。

領地の主なるものは左の如し。

- 亞細亞洲。佛領印度支那。廣州灣(租借地)。
- 大洋洲。ニューカレドニア。ポリネシアの一部。
- 亞弗利加洲。アルゼリヤ。チュニス。佛領コンゴ。マダガスカル。サハラ沙漠の大部。

南亞米利加洲。ギヤナの一部。

Guyana

北亞米利加洲。小アンチル諸島の一部等。

Lesser Antilles

七、地方誌。首府パリはセーヌ河に跨り、歐洲第二の都府

Paris(237)

にして、又全國商工業の大中心なり。府を圍むに堅固なる

廓壁を以てす。ノートルダム大寺凱旋門・エーフェル塔・ルー

Notre Dame

Eiffel

Louvre

ブルの博物館・劇場等、宏大なる建築物に富み、市街の壯麗は

天下に比なく、歐洲服裝流行の中心、娛樂の別天地なり。市

の西南に當りてベルサイユの宮殿あり。

Versailles

ルアンはセーヌ河の下流にあり、綿絲紡績の中心にして、

Rouen

又毛織物業盛なり。ルアーブルはセーヌ河口に位し、此の

Le Havre

國大西洋航路の中心地を成し、此の國第二の貿易港なり。

リールは東北の國境に近く、諸織物業の中心なり、附近の

Lille

炭田廣大にして白耳義に連る。ダンケルクは英吉利海峽

Dunkirk(Dunkerque)

に臨める貿易港にして、近時の發達甚だ著し。其の西にあ

るカレーは英吉利のドーバーに對し、海峽を渡る要津にし

Calais

て、距離最も短し。シェルブールは英吉利海峽方面、ブレスト

Cherbourg

Brest

は大西洋方面の軍港なり。

サンナゼルはロアール河口の商港、ナントは同河下流の

St. Nazaire

Nantes

工業地なり。オルレアンは同河の中流地方に位し、戦史に

Orleans

名高し。セントエヌは同河上流地方に位し、附近炭田

St. Etienne

の中心にして、鐵器の製造に名あり。

ボルドーはガロンヌ河の下流に位し、南米との貿易盛に

Bordeaux

して、又葡萄酒の輸出に名高く、其の北方河岸のメドック地方

Médoc

は淳良なるクラレット酒の産地なり。ツールーズはガロン

Toulouse

ヌ河の上流に位し、交通の要點を成す。

マルセイユ (Marseille(52))

の國第一の貿易港なり。日本郵船會社の歐洲航路に當る。

東南にツローンあり、地中海方面の軍港なり。

リヨン (Lyon)

リヨンはローヌ河と其の大支流ソーヌ河との會合點に

位し、絹織物業の盛大なること世界に比なく、又此の國內地交通の大中心なり。

ハ、モナコ (Monaco)

佛國の東南隅にある公國にして、面積一方里

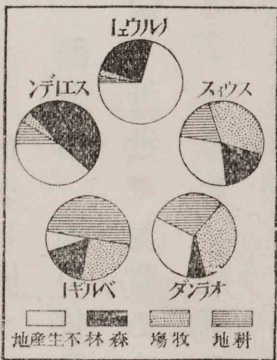
人口一萬五千餘あり。歳入は殆ど全く賭博會社の課税に仰ぐ。

第九章

白耳義 (Belgium) [面積約一千九百方里、人口約七百五十萬]

一、地文地理。佛國の東北に接し、面積我が九州より少し

土地種類別圖



く小なり。地勢東南に高く西北に低し。西方最低の地は和蘭の低地の續きにして、海面以下に位す。マース (Maas) シェルト (Scheldt) エスコー (Escaut) の二河佛國より來り、下流は和蘭に入る。氣候は概ね

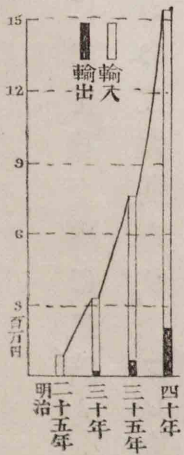
溫和なれども稍大陸性なり。

二、産業・交通。農業甚だ進歩し、不生産的地頗る少し。

又石炭に富み、ガラス、織物、製鐵、製糖等の工業盛大なり。

外國貿易盛にして、鐵板、ガラス等を我が國に輸出す。

河川及び運河の水利大なるのみならず、鐵道の發達甚だ著しく、面積に對する線路の長さの比は



日白貿易累年比較圖
明治四十三年日
白貿易
輸出 三四六
輸入 九四一

英國と共に世界の首位に居る。

三、住民。人口の密度世界第一にして、我が國に二倍す。

住民の種族はフレミッシュ・ワルーンの二大別あり。フレミッシュは西北部に住し、フレミッシュ語を用ひ、和蘭人に同じく、ワルーンは東南部に住し、佛語を用ひ、佛人に類す。公文書には兩語を用ふ。

宗教は舊教一般に行はる。高等教育盛にして四大學あり。又商業に關する専門教育甚だ進歩せり。

四、政治。國の位置列強の間にあり、古來屢大戰役の衝に當り、近世に至りて列強の保障により、永世局外中立となり。海軍なく、陸軍兵も四萬に満たずして、軍備は國內の安寧保護のみを目的とせるが故に規模大ならず。立憲王國

にして、近時コンゴ獨立國を合併せり。

五、地方誌。首府ブラッセルは國の中央に位し、市街華麗にして小バリの名あり。レースを名産とす。ワートルロー

の古戰場は其の南方に當る。リエージュは製鐵業の中心に

して、兵器の製造極めて盛なり。アントワープ(アンベルス)

はシェルト河の下流に位し、此の國第一の貿易港にして、又日本郵船會社歐洲航路の終點に當る。オスタンドは北海の

岸にあり、歐洲大陸の西部より英國に渡る一要津なり。

六、ルクセンブルグ(面積約百七十五方里)。白耳義、獨逸、佛蘭西の間

第十章 和蘭(面積約二千一百方里)

一、地文地理。白耳義の北に接し、ゾイデル海北より入り

和蘭の地勢略圖



込み、面積我が九州より小なり。國の西部は土地低く、多くは海面以下に位す。砂丘の發達と、堤防の設備とにより、漸く海水の侵入と河水の氾濫とを拒ぎ、治水事業の發達他國に比類稀なり。海は此の國の永久の敵にして、國人は其の沿岸を排水し、漸次に陸地を恢復せり、此の新陸面をポルダーと云ふ。海風常に吹きて、風車の利用到る所に行はる。運河・河川は悉く主要都會を聯絡して、水路の利用自在を極め、國內の交通主としてこれによるは、此の國の特色なり。氣候は概ね溫和なれども、霧深く、濕氣多く、晴天少し。又東北部の運河は冬季氷結す。

二人文地理。農業大に發達し、園藝術最も名あり。又牧畜も盛にして、牛酪(バタ)、乾酪(チーズ)の産特に多し。石炭に乏しく、工業は造船業の外見るべきものなし。

舊時は世界第一の商業國にして、現今に於ても外國貿易は世界第五位にあり。これ商業上便利なる位置にあると、馬來諸島に於て廣大なる良殖民地を有するとによる。

人口の密度白耳義に次ぎ、世界第二に居る。人種はチュートン種族に屬し、性質勤儉にして潔癖あり。古來通商航海に長ぜり。教育は普及し、四大學あり。立憲王國にして、現今は女王を戴く。本邦條約國中舊時より關係頗る深かりしが、現今は外交上、通商上關係極めて少し。

殖民地は甚だ廣く、馬來諸島のジャバ・スマトラ・ボルネオの大部、New Guinea ニューギネヤの一部は其の主なるものにして、又西大陸に於ては西印度諸島の一部及びギヤナの中部を領し、通じて此の國の屬地は本國に比し、面積約六十倍、人口約七倍に達す。

三、地方誌。 首府をハーグと云ふ、常設萬國仲裁裁判所あり。

阿姆斯特ルダムは數多の小島の上に立ち、此の國第一の都會にして古來有名なる海港なり、金剛石細工を以て名

高し。Rotterdam ロッテルダムは其の西南にあり、阿姆斯特ルダムと共に歐洲大陸中屈指の貿易港なり。

ユトレヒトは阿姆斯特ルダムの東南にありて、軍事上の要點を占め、歴史上有名の都會なり。

Vlissingen (Flushing) フリーシンゲン(フラッシング)は國の西南岸にあ

り、歐洲大陸西部より英國に渡る一要津なり。

第十一章

英吉利 面積約二萬方里
人口約四千五百萬

一、境域。 大ブリテイン及びアイルランドの二大島と數

多の小島とより成れる島國にして、歐洲大陸の西に位し、英吉利海峽を隔てて佛蘭西に對す。面積我が國內地より少

しく小なり。其の中大ブリテインはイングランド・スコットランド・Wales ウェールズの三部に分る。

二、地勢。 イングランドの東南部は平地廣く、歐洲北部大平原の續きを成す。北部はペンナイン山脈南北に走り、西

部ウェールズとの境も山多けれども皆高からず。スコットランドは山多く、最高點 Ben Nevis ベンネビス山は四千四百餘尺に達し、

此の國第一の高峯なり。中部以北は狹長なる湖水 Loch (ロック) 甚

だ多く風景に富む。ウェールズはイングランドの西に位し
到る所山多し。アイルランドはアイリッシュ海を隔てて、大
ブリタインに對し、概ね一面の平原にして、周圍に低き山脈
あり。

河は短はれども、水量多く、傾斜緩にして、遠く潮汐を感じ、
内地遙に船舶を通ず。大ブリタインのテームス河、セバー
ン河、アイルランドのシャノン河は最も著しきものなり。

海岸出入に富み、特に喇叭狀の灣入多く、内地の何づれの
部分も海岸より二十里以上を隔てず。又スコットランドの
沿岸は鋸齒の如き出入多し。

三、氣候。溫暖なる灣流近海を流れ、西南の主風此の上を
吹き來り、先づ此の國に當るを以て、國の位置高緯度に位す

馬牛羊豚
二千二百萬頭
三千四百萬頭

れども、氣候概ね溫和にして、雨量に富む。特に西岸は雨量
最も多し。唯濃霧多きを缺點とし、首府ロンドン附近殊に
甚し。

四、産業。耕地は全國の四分の一に満たずして、穀物の供
給常に不足なり。特に工業を主とせる大ブリタインに於
ては、國民の常食たる小麥は露國・印度・加奈陀・亞爾然丁・濠洲・
米國等よりの輸入を仰ぐ。アイルランドは馬鈴薯の産多
く、住民多くはこれを常食とす。牧畜盛大にして、牧場は全
國の三分の一を占む。

東方近海は水産に富み、特に東北部の鯡は古來名高く、大
ブリタインの東岸にヤルマス・ハル等有名なる漁港あり。
鐵及び石炭非常に豊富にして、鐵は米獨に、石炭は米國に

次ぐ。又國の西南部は錫の産多し。

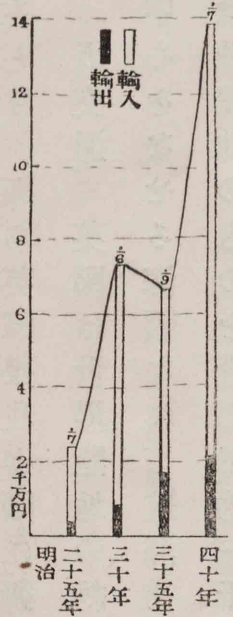
工業の盛大他に比なく、特に機械織物造船は世界第一に位し、製鐵は世界第三位に居る。我が戰艦の此の國にて製造せられたるもの少からず。斯く工業の盛なるは、鐵石炭の産多く、且其の產地相近くして、運搬に便なること、廉價なる原料品を廣大なる殖民地より取り、更に其の製品を印度の如き領地に輸出し得ること等、實業上他に卓絶せる此の國の地位亦大に與つて力あり。すべて英國製の品は良質持久を以て稱せらる。

此の國は世界商業の大中心にして、輸出入額は百億圓を超え、世界第一位を占む。貿易の主義は自由貿易にして、酒類煙草等を除く外、すべて關稅を課せず。主要輸出品は綿

布・鐵・石炭・器械・毛織物等にして、主要輸入品は穀物・綿・肉類・羊毛等なり。其の取引先は米國第一にして、印度・佛獨等これに次ぐ。ロンドン・リバプールは貿易の二大中心なり。

本邦との貿易も甚だ盛にして、我が輸入品第一の供給者は英國なり。もし領地を合すれば、殆ど我全輸出入額の約三分の一を占め、其の本國のみを以てするも清・米二國の外、これに匹敵するものなし。我が輸入品の羅紗・金巾類・綿織絲・更紗・綿繻子・羊毛・鐵板・鐵塊・鐵葉・機械・硫酸肥料等は多く此

日英貿易累年比較圖
(分數は我が全貿易額に對する比を示す)
明治四十三年日英貿易額
輸出 九四七〇八
輸入 二五七〇八



の國より來る。然れども我が輸出に於ては遠く米・清・佛諸國の下にありて、羽・二重・銅・眞田等を

主とす。即ち英國は我が國に對して、多く賣り、少く買ふ。

五、交通。英國は世界陸地の約中央に位し、世界交通の中心をなせる海國なれば、航海業は最も發達し、商船の噸數は殖民地のものを合して、約一千九百萬噸に達し、世界商船の殆ど一半を占め、地球上到る所の港に其の國旗を翻せる船舶を見ざることなく、我が國の貿易もこれによるもの少からず。

面積に比して鐵道線路の延長せることは、白耳義と共に世界の首位に居る。

又河川運河の水利甚だ大にして、マンチェスター運河・カレドニヤ運河は最も有名なり。

Caledonia

Manchester

大都會は其の人口の稠密、産業の盛大なると共に、市内の

交通亦頗る頻繁を極め、地下鐵道・回轉式の橋等の設備を見るに至る。

六、住民。人口の密度は白耳義和蘭に次いで、世界第三に位す。人口の増加大にして、毎年約四十萬を増し、領土の擴張に伴ひ、海外への移住今尙盛なり。且實業の發達に従ひ、人口都會に集中し、アイルランドを除く外、都邑の人口は總人口の三分の二に當る。

アイルランドに於ては人口次第に減少し、且外國への移住盛にして、過去五十年間に四百餘萬人に及び、主として米國に移住せり。

人種はチュートン種族を第一とし、ケルト種族も亦少からず。國民多くは新教を奉ず。但しアイルランドには主と

して舊教行はる。大學は有名なるオクスフォード・ケンブリッジを始めとし、其の數十七あり。

國人着實保守の氣象に富み、最も海事を重んず。英語は又米國の國語にして、弘く世界各地にも用ひられ、商業語として第一に居る。

七、政治。全英吉利帝國は大ブリタイン及びアイルランドの合衆王國と、印度帝國、諸殖民地、保護地、屬地とより成る。故に英國王は又印帝皇帝にして、且全領土の元首たり。此の國の政治は立憲政治の元祖にして、憲政の美世界の模範となれり。

陸軍は常備兵二十萬に満たずして、大陸の諸強國に比し強大ならず。海軍は世界第一に位し、戰鬪艦、巡洋艦、水雷艇

潜水艇等建設中のものを合して、五百隻、百八十萬噸を超え、これを數多の艦隊に分ち、領土の分布に應じて内外の各地に派遣す。此の國の領地世界各地の海面に亘り、且外國貿易極めて盛大なるが故に、強大無比の海軍を必要とす。

我が國從來の發達は此の國に負ふ所多く、尙通商上其他彼我の關係常に甚だ密接なり。且東洋の平和に關して、明治三十五年同盟條約を結び、次いで明治三十八年の新協約により、東亞及び印度の平和に關して、一層切實なる攻守同盟を結び、明治四十三年又これを改訂して持續せり。

領地廣大にして、其の面積は世界陸地の五分の一、人口は四億に達し、印度、濠洲、加奈陀は、其の主なるものにして、東洋に於ては香港を領し、威海衛を租借せり。太陽決して英國

の領土内に没せずと云へるは當れり。

領地の最も重要なものは左の如し。

亞細亞洲。香港、ボルネオ島の一部、海峽殖民地、英領印度、錫蘭及ピアデン等。
Borneo Ceylon

大洋洲。濠太刺利聯邦、ニュージラント、フィジー諸島。
New Zealand Fiji

歐羅巴洲。ジブラルタル、マルタ。
Gibraltar Malta

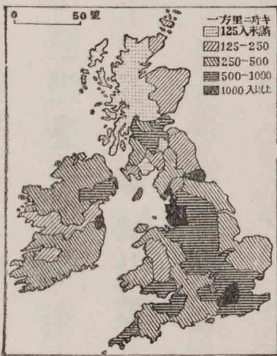
亞弗利加洲。南亞聯邦。英領東部亞弗利加等。

北亞米利加洲。加奈陀、ニューファウンドランド、ジャマイカ等。
Canada Newfoundland Jamaica

南亞米利加洲。ギヤナの一部、フォークランド諸島等。
Guyana Falkland

八、地方誌。商工國の特色として、都會甚だ多く、大都會に富む。特に大ブリテインには人口二十萬以上の都會十七ありて、總人口の三分の一強はこれ等十七の都會に集中す。又炭田地方は實業の盛大によりて、全國の中人口最も密な

英國人口の密度を示す圖



英國炭田の分布圖



り。
イングランドは全國中産業・交通の最も發達せる地方にして、首府ロンドン、大西洋交通の中心たるリバプール、世界第一の紡績市場たるマンチェスター等皆ここにあり。
Manchester

ロンドン(London)はテムス河に跨り、世界

第一の大都會にして、英國人口の六分の一はここに集中す。世界商業・交通

の大中心にして、一ケ年出入の船舶二千萬噸を超え、日本郵船會社の歐洲航路に當る。大洋通ひの大汽船はテムス河口より溯りて、市の東部にある幾多の大船渠内に碇泊し

得べし。横濱より印度洋を經由すれば海路約六十日、西比利亞鐵道によれば十六日、太平洋を横ぎり北米を經由すれば二十日にして達し得べし。市内にセントポール寺、國會議事堂、ウエストミンスター寺院及び規模宏大なる大英博物館及び植物園あり。市の近傍グリニッチには有名なる天文臺あり。

イングランドの東岸にあるハルはハンバー河の左岸にあり、貿易盛大にして、又有名なる漁港なり。ミッドルズバラは製鐵業盛大なり。ニューカッスルはタイン河の左岸にあり。石炭の輸出多く、又造船業盛大にして有名なるアームストロング會社あり。

イングランドの西北部より中部に亘りて、ランカシャーヤ

Lancashire

其の他の地方あり。附近は鐵・石炭に富み、且米國の綿、濠洲南米・南亞の羊毛を輸入して原料とし、紡績業・織物業の盛大なること全國に比なく、工場の煙突より日夜噴出する煤煙は天を焦し、空を掩ひ、其の一部にブラックカンツリー(黑郷)の稱あり。リバプールは此の國第二の貿易港にして、北亞米利加との貿易は遙にロンドンに超過す。マンチエスターは有名なる運河を以て、リバプールに聯絡し、地球上綿絲業の最大市場なり。リーズは毛布の製造を以て名高く、シェフィールドは双物の製造盛なり。バーミンガムは略イングランドの中央にあり、鐵工業殊に金屬器具の製造を以て名高し。

イングランドの南岸にあるサザンプトンは大西洋航路

Southampton

の一中心にして、これより東南方に當れるポーツマスは有名なる軍港の所在地なり。ドーバーは英吉利海峡の最も狭き部分の沿岸にありて、佛國のカレーに對し、一時間餘にして渡り得べく、英國大陸間交通上軍事上の最大要點を成す。又白耳義のオスタンドとの間にも渡船の往來頻繁なり。ウェールスのカヂフはセバイン河に臨み、石炭の輸出世界第一なり。

スコットランドは東西兩側より入り込める二對の彎入と、これを連接せる二低地帯とによりて、三分せらる。二低地帯の一は、グラスゴー・エジンバラ間の工業地となり、他は湖水多きグレンモリアの低地にして、カレドニヤ運河これを貫通し、北海と大西洋とを聯絡す。グラスゴーはクライド

Portsmouth

Dover

Wales Cardiff

Scotland

Caledonian

Glasgow

Olyde

河に跨り、工業の大中心地にして、造船業極めて盛なり。エジンバラは出版醸造の業盛大にして、有名なる大學あり。

アイルランドのダブリンはアイルランド第一の都會なり。ベルファストは商工業の中心地にして、麻織物の産多し。

第十二章 西班牙・葡萄牙

一、イベリヤ半島。イベリヤ半島は西班牙・葡萄牙二國の占むる地域にして、南はジブラルタル海峡を隔てて、亞弗利加洲に對し、面積約四萬方里、西班牙は其の大部を、葡萄牙は僅に西南の一部を占む。

地勢高原を成し、山脈連亘し、平地少し。北境佛國との境には高峻なるピレネー山系あり。南岸にシエラネバダ山脈あり。其の西端海に盡くる所、トラファルガル岬を成す。

Ireland

Dublin

Belfast

Spain

Portugal

Iberia

Gibraltar

Pyrenees

Sierra Nevada

Trafalgar

河はエプロ河最も大なり。概ね急流にして水利少し。
海岸は概ね出入多からず。

氣候は一樣ならず。西部及び北部は海洋の影響を受け、
溫和なれども、中央高原は雨量乏しく、寒暑の差大なり。

二、西班牙

面積約三萬三千方里。
人口約二千萬。

主なる産業は農業にして、古來
灌漑の法よく行はれ、葡萄、穀物、橄欖、果物の産多く、葡萄酒の
醸造甚だ盛にして、山林にはコルク櫛多し。金屬礦物は豊
富にして、鉛は世界第二、銅は世界第三の産額を有し、銀、水銀
の産出も亦多く、鐵鑛にも乏しからず。然れども主なる鑛
山は多く外國人の手に歸せり。

工業、貿易、交通も他の歐洲諸國に比して發達せず。

人種は、ラテン・ケルト等の諸種族及び亞刺比亞人の混合

より成り、北部の山間にはバスクBasque(イベリヤ人)あり。教育振
はず。又闘牛の遊戯今尙盛に行はる。

此の王國は舊時通商探檢を以て世界に雄視し、東洋にも
勢力を及ぼしたりしが、今は國力全く衰へ、且近世戦役の爲
めに國債急激に増加せり。然れども殖民地を有せし結果、
西班牙語は今尙南米諸國及び南洋諸島にも多く行はれ、商
業語として大切なり。

現今亞弗利加の西岸に面積一萬餘方里の領地を有する
に過ぎず。又カナリCanary諸島及び地中海のバレアルBaleario諸島は
行政上これを本國の一部となせり。

首府マドリドMadrid(37)は半島の約中央に當り、海面上約四千尺
の高所に位し、氣候は寒暑の差甚し。地中海岸のバルセロBarcelona(38)

ナは商工業の大中心にして、第一の貿易港なり。バレンシヤは絹織物業に名高く、グラナダはアルハンブラの宮殿を以て知らる。カヂスは西南岸に位し、古來有名なる港にして、北岸のビルバオは鑛石の輸出甚だ盛なり。

三、葡萄牙(面積約六千方里、人口約五百四十萬)。河岸平地廣く、主なる産業は農業にして、葡萄酒は輸出品中第一位を占む。此の國はもと通商探検を以て、西班牙と雄を世界に争ひ、最も早く我が國と互市を求めし國なりしが、今は全く昔時の國勢なし。國債甚だ多く、財政の整理未だ成らず。領地は亞細亞に於ては香港の西なる澳門、亞弗利加に於ては西部・東部にあり。但し大西洋中のアソレス及びマデイラ諸島は行政上これを本國の一部とす。

首府リスボン(Lisbon)はタホ河口(Tago)に位し、安全なる良港を有し、氣候良好、療養に適す。オポルト(Oporto)はドイロ河口(Douro)に位し、ポルト酒の輸出に名高し。

四、ジブラルタル(Gibraltar)。イベリヤ半島の南端に位し、地中海の門戸を扼する一小半島にして、英國の領地なり。西班牙との間には少許の中立地帯を存す。英國は此の地に堅固なる要塞を設け、大西洋艦隊の根據地とし、地中海の制海權を維持せり。

五、アンドラ(Andorra)。西班牙の東北隅、ピレネー山系中に位せる小共和國にして、面積約三十方里、人口五千餘あり。

第十三章 伊太利(面積約一萬八千方里、人口約三千五百萬)。一、境域。伊太利は長靴の形を成して歐羅巴の南部に突

出せる中央の一大半島と、附近の島嶼とより成り、面積我が本州よりも小さく大なり。

二、地勢。全土は大陸部・半島部・島嶼部の三部に大別せらる。大陸部は國の北部を成し、アルプ山系連亘す。半島部はアペニン山脈縦貫し、半島の脊梁を成す。島嶼部は長靴の爪先に當れるシシリイ島、脛前に當れるサルヂニヤ島及び附近の小島を含み、其の間にチレニヤ海を圍む。

此の國は有名なる火山國にして、又地震國なり。火山脈

はベスビヤス山を起し、更に島嶼部に及び、シシリイ島のエトナ火山、ストロンボリの火山島となる。

半島部・島嶼部の大部分は山地多けれども、大陸部にはアルプ山系とアペニン山脈との間に廣き平野を開き、ポー河

マラリヤ流行地
方圖
(陰影を施した
る部分)



の谷には狭長なる湖ありて、ポー河支流の路筋に當る。

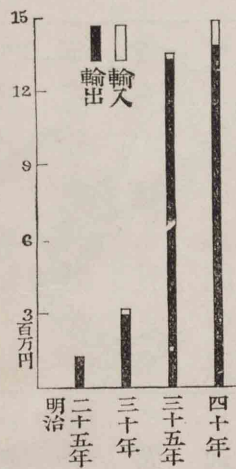
三、氣候。大陸部は大陸的、島嶼部は殆ど半熱帶的氣候を有し、半島部は概ね乾燥溫暖にして劇變なし。唯マラリヤの流行地少からざると、南部に亞弗利加よりの熱風時々襲來するとを缺點とす。

四、産業・交通。氣候高温・多雨、地味肥沃にして、國民多くは農を業とす。小麥・玉蜀黍・米等の農産多く、葡萄酒の産は佛

これを流れて、下流に低濕の三角洲を作り、アドリヤ海に入る。其の他著名なる河には半島の西部にタイバー河あり。湖には半島の中部に數多の火口湖あり。又アルプ山系

蘭西に次ぎ、橄欖油の産亦甚だ多し。養蠶業盛大にして、生絲の産歐洲第一に位す。又火山地方の硫黄は世界第一の産額を有し、精良なる大理石の産他に比なし。彫刻最も發達し、特殊の美術工藝品は此の國の名産なり。唯鐵及び石炭に乏しく、工業は從來英獨佛諸國に比して大に劣りしが、近時ロンバルデー平原にては、水力の利用非常に盛大にして、工業大に起り、諸國の注目する所となれり。

日伊貿易累年比較圖
明治四十三年日伊貿易額
輸出 一六八三萬圓
輸入 一五九三萬圓



外國貿易は尙遙に英獨米佛諸國の下に位すれども、近時次第に發達し、約二十億圓に近し。主要輸出品は生絲を第一とし、綿布・絹布・果實・葡萄酒等、主要輸入品は石炭・小麥・綿機械等にして、ゼノ

Genova

ア・ネーブルスは外國貿易の大中心なり。我が國との貿易も稍盛にして、此の國は我が繭絲を買ふこと米佛二國に次ぐ。

三面海を控へ、良港に富み、島嶼多く、海上の交通自在なり。特にスエズ運河及びアルプ山系大隧道の開通以來、中部歐羅巴より東洋諸國への直通路に當り、交通頻繁を極む。

五、住民政治。人口の密度略我が國に等し。海外への移住甚だ盛にして、北米合衆國及び南米諸國へ在留するもの約五百五十萬人に達す。住民はラテン種族に屬し、國教たる舊教を奉ず。古來學問の淵源地たりしが故に、高等教育は頗る發達し、二十一大學あり。

國民古來文學・美術・音樂に長じ、繪畫・彫刻・建築等に絶世の

美術品を出し、各國美術家の留學研究するもの常に絶えず。又羅馬の舊國なるを以て、古代文明の遺跡甚だ多く、考古學上の資料に富み、遺物の發掘盛に行はる。

此の國は舊教の淵源地にして、其の教長たる羅馬法王は首府ローマにあり。政治上昔時の權力更にこれなしと雖も、今尙歐洲諸國に使節を派遣し、各國の政府は羅馬法王に對し、君主と同一の待遇をなす。

立憲王國にして所謂歐洲六大強國の一に居る。海軍は世界第六位にあり。國債額大なれども、近時整理せられ、國の富力亦次第に増加す。又屬地には亞弗利加東岸の一部あるのみ。

六、地方誌。 首府ローマはタイバー河に跨り、舊時羅馬帝

Rome (Roma) (57) Tiber

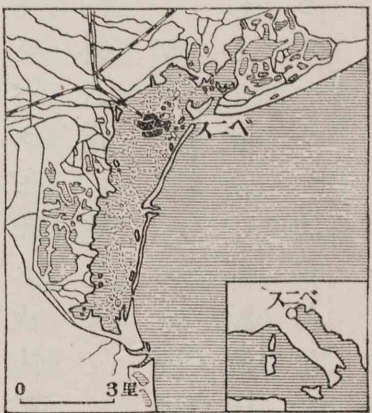
國の首府として、歐羅巴政治及び宗教の中心たりしが故に、
ペテロ大寺・バチカン宮殿等宏大なる建築物甚だ多く、又名
St. Peter Vatican
所・舊跡に富む。

ネープルス(ナポリ)は此の國第一の都會にして、國の西南
Naples (Napoli) (60)
岸に位し、ベスビヤス(ベスビオ)火山東に聳え、風光甚だ明媚
なり。附近にポンペイ・ヘルクラネウム二市の遺跡あり。
Pompeii Herculaneum

もとベスビヤス火山破裂の際埋没せしものにして、觀光の
内外人常に絶えず。

ゼノア(ジェノバ)は國の西北隅にあり、此の國第一の貿易港
Genoa (Genova)
にして、陸路中部歐羅巴に至る要點を占む。其の東南にあ
るスペチヤは有名なる軍港にして、ピサは斜塔に名高く、
Spezia
グホルン(リボルノ)は繁盛なる貿易港なり。ピサの東方内
Leghorn (Livorno) Pisa

ベニス略圖



地にあるフロレンス(Florence/Firenze)は美術の中心地にして、又名士の輩出地を以て名高し。

チユリン(トリノ)はポー河の上流に位し、モンズニ大隧道を通じて佛國に至る要點を占め、ミランと共にロ

ンバルデー平原の中心地を成す。ミラン(ミラノ)はサンゴ

Milan(Milano) (58)

St. Gotthard

タルド及びシンプロン大隧道を通じて中部歐羅巴に至る

(San Gotthard) Simplon

要點を占め、絹織物業に於ては全國の大中心にして、又有名なる大寺院あり。

ベニス(ベネチヤ)は同名の灣頭にあり、澤湖の中に位し數

Venice(Venezia)

多の島上に立ち、市街恰も水上にあるが如く、市中の交通は

専らゴンドラと稱する小舟による。昔時地中海の商權を握りたる盛況を存せざれども、今尙此の國主要海港の一たるを失はず。

Gondola

半島の東南隅に近くブリンヂシあり、中部及び西部歐羅

Brindisi

巴より南部亞細亞に通ずる最短の郵便線路に當る。

Messina

ナ及びパレルモはシシリー島にあり、貿易の盛大を以て名あり。

Palermo

七、サンマリノ。伊太利の中部に含まれ、面積六方里、人口一萬餘の小共和國なり。

San Marino

八、マルタ。シシリー島の南方に位し、地中海の中腹を扼し、軍事上極めて重要な位置にあり。此の地は英國に屬し、其のバレッタ港は地中海艦隊の根據地なり。

Malta

La Valetta

英國はスエズ運河を經營して地中海の門戸を扼し、ジブラルタルを領して同海の咽喉を壓し、此の地と相待つて地中海の制海權を握れり。

第十四章 バルカン半島諸邦

一、總説。バルカン半島はBalkanダネル・ボスポロス二海峽を隔てて、小亞細亞半島に對し、面積約四萬方里あり。地勢錯雜を極め、北にはカルパチヤ山脈に連れるトランシルバニアアルプ山脈あり。中部にはバルカン山脈東西に走り、北にはダニユーブ河下流の平原ありて主なる農産地を成す。又アドリヤ海岸にはDinaric Alpsヂナルアルプ山脈連り、希臘に入りてピンドス山脈となる。海岸出入に富み、東南の海は最も島嶼に富み、多島海の通稱あり。

北部の氣候は大陸性なれども、南部は海洋の影響を受け、溫和にして雨量多し。北部の平地は農業盛にして、麥類の産多く、又牧畜盛大なり。南部の沿海は葡萄、橄欖其の他果實の産に富む。

政治區劃上全土は左の六部に分る。

國名	面積	人口	政體
歐羅巴土耳其 <i>Turkey in Europe</i>	一萬一千方里	六百十萬	立憲帝國
希臘 <i>Greece</i>	四千二千方里	二百六十萬	立憲王國
モンテネグロ <i>Montenegro</i>	六千方里	二十五萬	立憲王國
セルビヤ <i>Serbia</i>	三千千方里	二百七十萬	立憲王國
ルーマニヤ <i>Rumania</i>	八千五千方里	六百九十萬	立憲王國
ブルガリヤ <i>Bulgaria</i>	四千方里	四百三十萬	立憲王國
希臘の東南にあるカンヂヤ(クレテ)島は英佛露伊四國、小			

亞細亞の西方にあるサモス島Samosは英佛露三國の共同保護地なり。

バルカン半島は斯く數多の小國に分れ、各國の人種宗教も地勢の如く複雑を極め、歐羅巴近世外交史上最も有名な地方なり。列國間の條約によりダニューブ河は鐵門以下各國公共の通路となり、ボスポロス・ダルダネルの二海峡は、列國軍艦の通航するを許さず。

人種はルーマニヤにルーマニヤ人、希臘に希臘人多數を占め、土耳其に略同數の土耳其人、希臘人、アルバニヤ人Albaniaあり。他の部分にはスラブ種族多し。宗教は土耳其には回教他には希臘教弘く行はる。

二、歐羅巴土耳其Turkey in Europe。土耳其帝國の一部にして、バルカン半

島の南部を占む。農業の法幼稚にして、農産割合に少し。穀物・生絲・葡萄・土耳其煙草を主なる物産とす。

土耳其一名オットマン帝國Ottoman（面積約二十六萬方里、人口約三千五百餘萬）は歐羅巴東南部

（歐羅巴土耳其、亞細亞西南部）亞細亞土耳其、亞弗利加北部（エジプト及びトリポリ）を含むと雖も、實權の及ばざる所少からず。皇帝の稱號をサルタンと云ふ。近時立憲制を布き、國會を開けり。

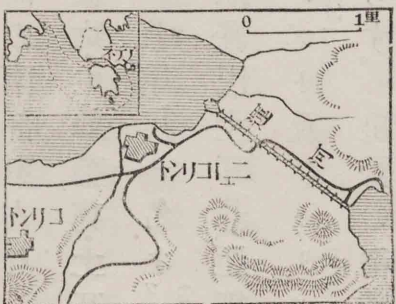
首府コンスタンチノプルは兩岸の風景河に似たるボス

ボロス海峡に臨みて、亞細亞のスクタリSpartanに對し、黒海地中海間の通路に當り、兩大陸交通の要點を占む。市の東北部に金角港深く彎入して無比の良港を成す。

三、希臘Greece。バルカン半島の南端に位し、コリント海峡Corinthによ

りて、更に二分せらる。海岸の屈曲他に比なく島嶼又甚だ多し。東岸に接する最大島ユーベヤ島の外、東方にはキクラデス及びスボラデス、西方にはイオニヤ諸島あり。氣候概ね溫暖、地味肥沃、葡萄、橄欖、無花果、其の他果樹の産甚だ多く、乾葡萄は此の國第一の輸出品なり。

コリント運河略



農業・牧畜は國民の主なる産業なり。又商船の數多く、國人は黒海及び地中海東部の商權を握れり。且コリント運河は地中海東部の交通に至大なる便宜を與ふ。此の國はバルカン半島の諸邦中唯一の本邦條約國なり。但し近年土耳其と戦ひ、大敗の結果、國債大に増加し、仲裁せ

る列國の委員、財政の整理に當れり。昔時は歐洲第一の先進文明國にして、文學・技藝の淵源たりしが故に、首府の附近を始めとし、到る所故跡遺趾甚だ多し。首府アテネは國の東南部に位し、大學の設けあり。西方にピレウスあり、此の國第一の貿易港なり。

四、モンテネグロ。バルカン半島の西北隅にあり。全國皆兵の主義能く行はれ、地勢の天險により古來よく獨立を維持せり。首府をチチニエと云ふ。

五、セルビヤ。バルカン半島の北部にあり。首府ベルグラドはダニューブ河本流と支流サウ河との會合點に位し、大學の設けあり。

六、ルーマニヤ。主としてダニューブ河下流左岸の區域を

牛二百六十萬頭
羊五百七十萬頭

占め、東の一部は黒海に臨む。地味肥沃にして、麥類の産多く、牧畜盛なり。又石油の産額近年著しく増加せり。首府ブカレストは平原の中央に位し、中心市場なり。ガラツはダニュープ河と支流プルト河との會合點に位する河港にして、ダニュープ河を管理する國際委員ここに駐在す。

七、ブルガリヤ。ダニュープ河下流の南に位し、バルカン山

脈中央を東西に走る。多く小麥を出し、薔薇油の産に富み、

牧畜亦盛なり。首府ソフィヤはベルグラドよりコンスタン

チノブルに至る要點に位し、大學の設けあり。

歐羅巴洲結論。本洲は平地廣く、地味肥え、河川の利大に、海岸の出入多く、氣候溫和、諸種の天産特に鑛物に豊富なる

のみならず、其の住民はよく獨立進取の氣象に富みて、實業を勵み、殖産に力む。故に文明の發達他に比なく、其の大國は、富強の實内に充ち、拓殖の功外に成り、現代文明の中心として、本國の進歩盛大を極め、地球上の陸地の大部を自己の勢力範圍となすに至れり。

最近統合外國地理

中學校用 中卷 終

歐羅巴洲

atolud 2

明治三十八年十二月二日
 明治三十九年十一月二日
 明治四十年十二月二日
 明治四十一年十一月二日
 明治四十二年十二月二日
 明治四十三年十一月二日
 明治四十四年十二月二日
 明治四十五年十一月二日
 明治四十六年十二月二日
 明治四十七年十一月二日
 明治四十八年十二月二日
 明治四十九年十一月二日
 明治五十年十二月二日
 明治五十一年十一月二日
 明治五十二年十二月二日
 明治五十三年十一月二日
 明治五十四年十二月二日
 明治五十五年十一月二日
 明治五十六年十二月二日
 明治五十七年十一月二日
 明治五十八年十二月二日
 明治五十九年十一月二日
 明治六十年十二月二日
 明治六十一年十一月二日
 明治六十二年十二月二日
 明治六十三年十一月二日
 明治六十四年十二月二日
 明治六十五年十一月二日
 明治六十六年十二月二日
 明治六十七年十一月二日
 明治六十八年十二月二日
 明治六十九年十一月二日
 明治七十年十二月二日
 明治七十一年十一月二日
 明治七十二年十二月二日
 明治七十三年十一月二日
 明治七十四年十二月二日
 明治七十五年十一月二日
 明治七十六年十二月二日
 明治七十七年十一月二日
 明治七十八年十二月二日
 明治七十九年十一月二日
 明治八十年十二月二日
 明治八十一年十一月二日
 明治八十二年十二月二日
 明治八十三年十一月二日
 明治八十四年十二月二日
 明治八十五年十一月二日
 明治八十六年十二月二日
 明治八十七年十一月二日
 明治八十八年十二月二日
 明治八十九年十一月二日
 明治九十年十二月二日
 明治九十一年十一月二日
 明治九十二年十二月二日
 明治九十三年十一月二日
 明治九十四年十二月二日
 明治九十五年十一月二日
 明治九十六年十二月二日
 明治九十七年十一月二日
 明治九十八年十二月二日
 明治九十九年十一月二日
 明治九十年十二月二日



發行所

東京市京橋區銀座壹丁目廿二番地

大日本圖書株式會社

郵便振替貯金口座 東京 二一九番

各府縣下 特約販賣所

印刷者兼

東京市京橋區銀座壹丁目廿二番地

大日本圖書株式會社

右代表者

專務取締役 宮川保全

著作者

山上萬次郎

最近適合外國地理 中學校用奧附

價	定
下中	上卷
卷各	金參拾錢
金參	拾五錢

*How's time Middle
 school year class no 8.
 S. Kubota*

S. Kubota

大日本圖書株式會社出版圖書特約販賣所

Kubota

北海道 魁文會。一、二堂。富貴堂。川南。東五府 丸善。林平。大倉。水野。青野。三友。內田。杉本。文林堂。北隆館。文星堂。中西屋。東京堂。文會堂。勉強堂。二松堂。松邑。東海堂。有隣堂。十字屋。良明堂。森江。練川縣 弘集堂。勉強堂。新潟縣 北光社。高桑。覺張。目黒。野鳥。西村。萬松堂支店。埼玉縣 高野。群馬縣 煥乎堂。千葉縣 多田屋。茨城縣 明文堂。川又。寺田。栃木縣 煥乎堂分舖。青木。三重縣 岩田。安屋。愛知縣 川瀬。永東。靜岡縣 吉見。谷嶋屋。三原屋。大石。山梨縣 柳正堂。岐阜縣 郁文堂。郁文堂支店。長野縣 日新堂。水野堂。朝陽館。西澤。盛文堂。宮城縣 藤崎。英華堂。金港堂。福島縣 岳堂。巖手縣 佐藤。文明堂。青森縣 青霞堂。今泉。今泉支店。秋田縣 山崎。岩手縣 中田。學海堂。清明堂。京都府 若林。松田。大阪府 柳原。松村。開成館。寶隆館。兵庫縣 六庫縣 熊谷。石田。福浦。竹内。藥師寺。中井。長崎縣 松崎。奈良縣 文進堂。滋賀縣 廣田。福井縣 品川。石川縣 宇都宮。鳥取縣 德岡。今井。久松堂。島根縣 川岡。岡山縣 山陽書齋會社。廣島縣 積善館。芸香堂。山口縣 含英堂。梅龍堂。日新堂。日新堂支店。超世館。德島縣 平安堂。德島縣 靜壽堂。香川縣 開益堂。開文會。愛媛縣 向井。土肥。足立。高知縣 富士越。福岡縣 佐野。積善館。博文社。金文堂。大分縣 甲斐。中園。梅津。佐賀縣 牧川。平井。五郎川。熊本縣 長崎。宮崎縣 修進堂。鹿耳門 吉田。金光堂。津浦縣 小澤。臺灣 新高堂。積善館 廣島 積善館

廣島山中學校
 廣島市中學校
 廣島縣立第一中學校
 廣島縣立第二中學校
 廣島縣立第三中學校
 廣島縣立第四中學校
 廣島縣立第五中學校
 廣島縣立第六中學校
 廣島縣立第七中學校
 廣島縣立第八中學校
 廣島縣立第九中學校
 廣島縣立第十中學校
 廣島縣立第十一中學校
 廣島縣立第十二中學校
 廣島縣立第十三中學校
 廣島縣立第十四中學校
 廣島縣立第十五中學校
 廣島縣立第十六中學校
 廣島縣立第十七中學校
 廣島縣立第十八中學校
 廣島縣立第十九中學校
 廣島縣立第二十中學校
 廣島縣立第二十一中學校
 廣島縣立第二十二中學校
 廣島縣立第二十三中學校
 廣島縣立第二十四中學校
 廣島縣立第二十五中學校
 廣島縣立第二十六中學校
 廣島縣立第二十七中學校
 廣島縣立第二十八中學校
 廣島縣立第二十九中學校
 廣島縣立第三十中學校
 廣島縣立第三十一中學校
 廣島縣立第三十二中學校
 廣島縣立第三十三中學校
 廣島縣立第三十四中學校
 廣島縣立第三十五中學校
 廣島縣立第三十六中學校
 廣島縣立第三十七中學校
 廣島縣立第三十八中學校
 廣島縣立第三十九中學校
 廣島縣立第四十中學校
 廣島縣立第四十一中學校
 廣島縣立第四十二中學校
 廣島縣立第四十三中學校
 廣島縣立第四十四中學校
 廣島縣立第四十五中學校
 廣島縣立第四十六中學校
 廣島縣立第四十七中學校
 廣島縣立第四十八中學校
 廣島縣立第四十九中學校
 廣島縣立第五十中學校
 廣島縣立第五十一中學校
 廣島縣立第五十二中學校
 廣島縣立第五十三中學校
 廣島縣立第五十四中學校
 廣島縣立第五十五中學校
 廣島縣立第五十六中學校
 廣島縣立第五十七中學校
 廣島縣立第五十八中學校
 廣島縣立第五十九中學校
 廣島縣立第六十中學校
 廣島縣立第六十一中學校
 廣島縣立第六十二中學校
 廣島縣立第六十三中學校
 廣島縣立第六十四中學校
 廣島縣立第六十五中學校
 廣島縣立第六十六中學校
 廣島縣立第六十七中學校
 廣島縣立第六十八中學校
 廣島縣立第六十九中學校
 廣島縣立第七十中學校
 廣島縣立第七十一中學校
 廣島縣立第七十二中學校
 廣島縣立第七十三中學校
 廣島縣立第七十四中學校
 廣島縣立第七十五中學校
 廣島縣立第七十六中學校
 廣島縣立第七十七中學校
 廣島縣立第七十八中學校
 廣島縣立第七十九中學校
 廣島縣立第八十中學校
 廣島縣立第八十一中學校
 廣島縣立第八十二中學校
 廣島縣立第八十三中學校
 廣島縣立第八十四中學校
 廣島縣立第八十五中學校
 廣島縣立第八十六中學校
 廣島縣立第八十七中學校
 廣島縣立第八十八中學校
 廣島縣立第八十九中學校
 廣島縣立第九十中學校
 廣島縣立第九十一中學校
 廣島縣立第九十二中學校
 廣島縣立第九十三中學校
 廣島縣立第九十四中學校
 廣島縣立第九十五中學校
 廣島縣立第九十六中學校
 廣島縣立第九十七中學校
 廣島縣立第九十八中學校
 廣島縣立第九十九中學校
 廣島縣立第一百中學校



とらふ

栞書あり

栞書あり

栞書あり

栞書あり

栞書あり

とらふ

子集

栞書あり

栞書あり

子集

栞書あり

広島大学図書
2000071217
